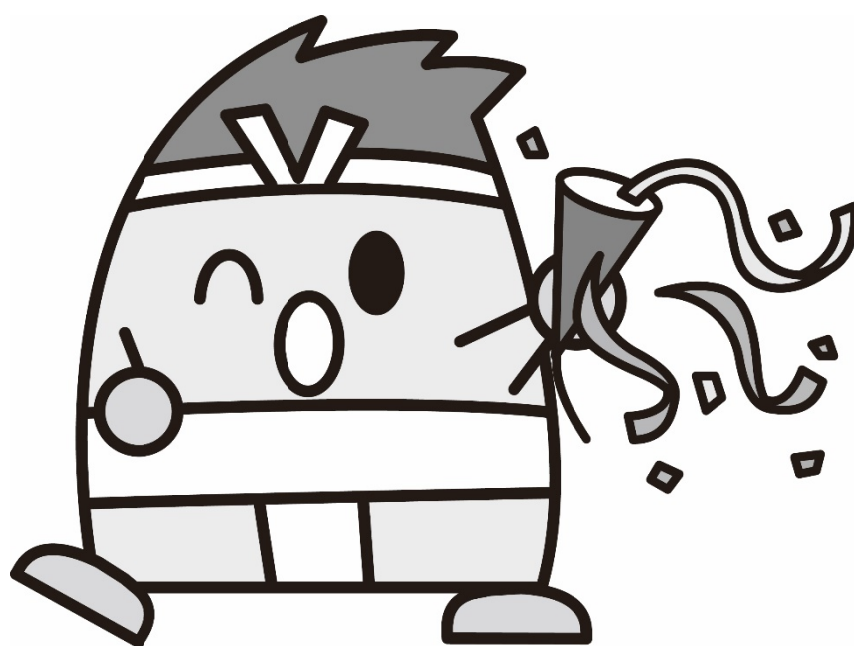


## 第24回 市政世論調査

# 市民のこえ

## 調査結果のまとめ



©稲沢市 いなッピー



60th Anniversary

いなざわ

2018 稲沢市



# はじめに

2年に1回実施しております「市政世論調査」は、昭和48年に第1回目の調査を開始して以来、今回で24回目となりました。

この調査は、市のさまざまな施策について、市民の皆さまからご意見やご提案をいただくとともに、その結果を行財政運営に反映させ、魅力と活力のあるまちづくりを進めるため実施しております。

今年度、稲沢市は市制施行60周年を迎えました。この記念すべき節目を迎えるに当たり、テレビの参加型公開番組の招へいや市民提案事業への補助など、さまざまな記念事業を行い、全市的な盛り上げを図ってまいりました。

さらに、今年度は市政全般の最上位計画である『稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）』がスタートした年でもあります。「ステージアップ稲沢」をスローガンに、「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」「名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」を目指し、行政の各分野における取り組みをより一層進めてまいります。

平成28年に公職選挙法が改正され選挙権を有する年齢が満18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、前回の調査に引き続き調査対象年齢を満20歳以上から満18歳以上に拡大しております。

また、前回の調査結果を事業に活用している事例を報告させていただきます。

今後も稲沢市の発展のため、市政に一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。最後に、この調査にご協力いただいた多くの市民の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

平成30年11月  
稲 沢 市

# 目 次

|                                                                                                  |          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| はじめに .....                                                                                       | 1        |
| 目次 .....                                                                                         | 2        |
| <b>I 調査概要 .....</b>                                                                              | <b>4</b> |
| 1 調査の目的 .....                                                                                    | 4        |
| 2 調査の概要 .....                                                                                    | 4        |
| 3 回収結果 .....                                                                                     | 4        |
| 4 調査結果の見方 .....                                                                                  | 4        |
| 5 過去の調査概要 .....                                                                                  | 5        |
| <b>II 調査結果 .....</b>                                                                             | <b>7</b> |
| 1 回答者の属性について .....                                                                               | 7        |
| 2 稲沢市について .....                                                                                  | 10       |
| 問1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか。 .....                                                                    | 10       |
| 問1-1 住みにくい理由は何ですか。 .....                                                                         | 12       |
| 問2 これからも稲沢市に住みたいと思いますか。 .....                                                                    | 14       |
| 問3 稲沢市の現状についてどの程度満足していますか。 .....                                                                 | 16       |
| 問4 あなたは、次の各項目についてどれにあてはまりますか。 .....                                                              | 18       |
| 問5 現在、「広報いなざわ」をはじめ各種行政文書は、毎月1回区長を通じて配布<br>しています。今後、この配布方法をどのようにすべきだと思いますか。 .....                 | 23       |
| 問6 飲料水として、最も利用する水は何ですか。 .....                                                                    | 24       |
| 問6-1 その理由は何ですか。 .....                                                                            | 25       |
| 問7 災害に備え水を備蓄する目安は、7日分（1日1人3リットル）となっています。<br>あなたの家では、災害時に利用できる飲料水を何日分備蓄していますか。 .....              | 26       |
| 問7-1 7日以上以上の飲料水の備蓄をしていない理由は何ですか。 .....                                                           | 27       |
| 問8 稲沢市では、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。お住まいの住宅<br>の義務となる場所（寝室・こども部屋・階段上部）に住宅用火災警報器は設置さ<br>れていますか。 ..... | 28       |
| 問8-1 住宅用火災警報器の作動確認を実施しましたか。 .....                                                                | 28       |
| 問8-2 作動確認を実施した結果について選んでください。 .....                                                               | 29       |
| 問9 お住まいの住宅はいつ建てられましたか。 .....                                                                     | 29       |
| 問9-1 家族構成について選んでください。 .....                                                                      | 29       |
| 問10 次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものはありますか。 .....                                                        | 31       |
| 問11 日頃から健康維持・増進のために早歩きや階段を使ったりするなど、意識的に<br>体を動かすように心掛けていますか。 .....                               | 32       |
| 問12 1日に30分以上歩いていますか。 .....                                                                       | 34       |

|                                                |           |
|------------------------------------------------|-----------|
| 問 13 朝食を毎日食べていますか。 .....                       | 36        |
| 問 14 あなたや家族のかたが病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。 ..... | 38        |
| 問 14－1 その理由は何ですか。 .....                        | 40        |
| <b>Ⅲ 前回の調査結果により事業に活用した事例の進捗状況.....</b>         | <b>42</b> |

# I 調査概要

## 1 調査の目的

市民生活の実態や、市民志向の調査、市政に対する意見・提言の調査を行い、データなどの集約・分析によって、現状把握の中から行政施策の立案・実態把握の基礎資料とします。

## 2 調査の概要

- (1) 調査地域 : 稲沢市全域
- (2) 調査対象者 : 満 18 歳以上の市民のかた 2,500 人（無作為抽出）
- (3) 調査期間 : 平成 30 年 8 月 1 日から 8 月 13 日まで
- (4) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収による郵送調査法

## 3 回収結果

| 配布数     | 有効回答数   | 有効回答率 |
|---------|---------|-------|
| 2,500 通 | 1,352 通 | 54.1% |

## 4 調査結果の見方

- 図表中の「N数 (number of case)」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第 2 位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1 つだけに○をつけるもの）であっても合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるものなど）は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示していますので、合計が 100%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- 設問に対する回答数が「あてはまるもの全てに○」の場合、各 N 数と調査結果の割合から割戻した数の合計が一致しない場合があります。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の集計表（クロス集計）は、最も高い割合のものを網かけしています。（「無回答」を除く）

※クロス集計とは…複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ表を作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法

## 5 過去の調査概要

| 区分    | 調査年月日        | 調査人数    | 回答人数    | 回収率   | 調査方法  |
|-------|--------------|---------|---------|-------|-------|
| 第 1 回 | 昭和 48 年7月    | 1,000 人 | 805 人   | 80.5% | 個別面接法 |
| 第 2 回 | 昭和 49 年9月    | 2,000 人 | 1,418 人 | 70.9% | 郵送法   |
| 第 3 回 | 昭和 50 年9月    | 2,000 人 | 1,461 人 | 73.1% | 郵送法   |
| 第 4 回 | 昭和 52 年6月    | 2,000 人 | 1,402 人 | 70.1% | 郵送法   |
| 第 5 回 | 昭和 54 年7月    | 2,000 人 | 1,579 人 | 79.0% | 郵送法   |
| 第 6 回 | 昭和 56 年7月    | 2,500 人 | 1,929 人 | 77.2% | 郵送法   |
| 第 7 回 | 昭和 58 年7月    | 2,500 人 | 1,893 人 | 75.7% | 郵送法   |
| 第 8 回 | 昭和 60 年7月    | 2,500 人 | 1,936 人 | 77.4% | 郵送法   |
| 第 9 回 | 昭和 62 年6月    | 2,500 人 | 1,878 人 | 75.1% | 郵送法   |
| 第10回  | 平成元年6月       | 2,500 人 | 1,768 人 | 70.7% | 郵送法   |
| 第11回  | 平成4年6月       | 2,500 人 | 1,775 人 | 71.0% | 郵送法   |
| 第12回  | 平成6年7月       | 2,500 人 | 1,801 人 | 72.0% | 郵送法   |
| 第13回  | 平成8年7月       | 2,500 人 | 1,685 人 | 67.4% | 郵送法   |
| 第14回  | 平成 10 年7月    | 2,500 人 | 1,767 人 | 70.7% | 郵送法   |
| 第15回  | 平成 12 年7月    | 2,500 人 | 1,699 人 | 68.0% | 郵送法   |
| 第16回  | 平成 14 年7月    | 2,500 人 | 1,660 人 | 66.4% | 郵送法   |
| 第17回  | 平成 16 年7月    | 2,500 人 | 1,598 人 | 63.9% | 郵送法   |
| 第18回  | 平成 18 年7月    | 2,500 人 | 1,625 人 | 65.0% | 郵送法   |
| 第19回  | 平成 20 年8月    | 2,500 人 | 1,598 人 | 63.9% | 郵送法   |
| 第20回  | 平成 22 年8月    | 2,500 人 | 1,637 人 | 65.5% | 郵送法   |
| 第21回  | 平成 24 年8月    | 2,500 人 | 1,624 人 | 65.0% | 郵送法   |
| 第22回  | 平成 26 年 11 月 | 2,500 人 | 1,699 人 | 68.0% | 郵送法   |
| 第23回  | 平成 28 年8月    | 2,500 人 | 1,390 人 | 55.6% | 郵送法   |

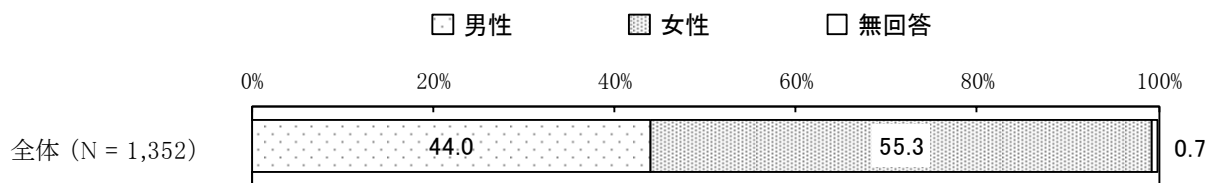




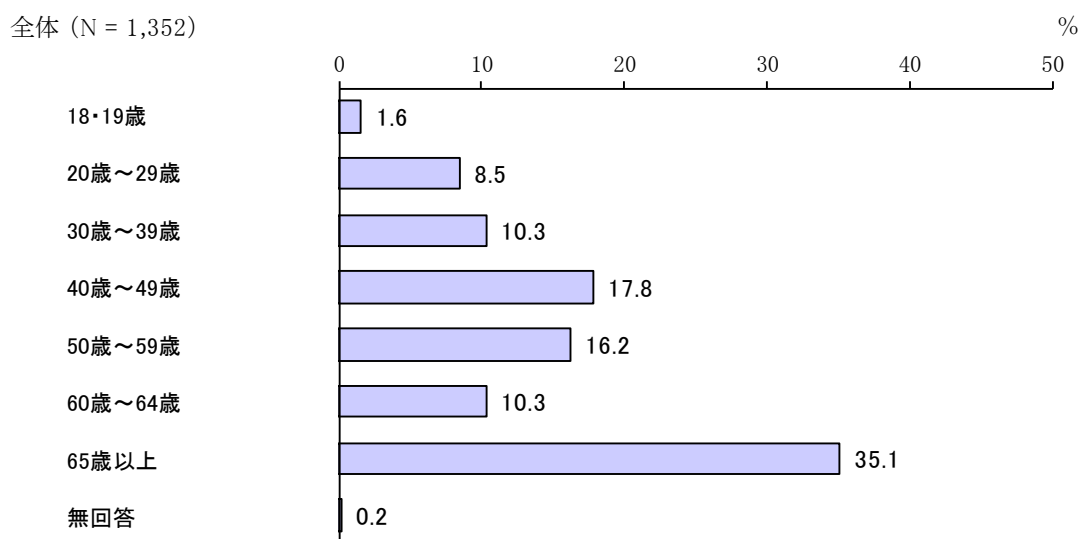
## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者の属性について

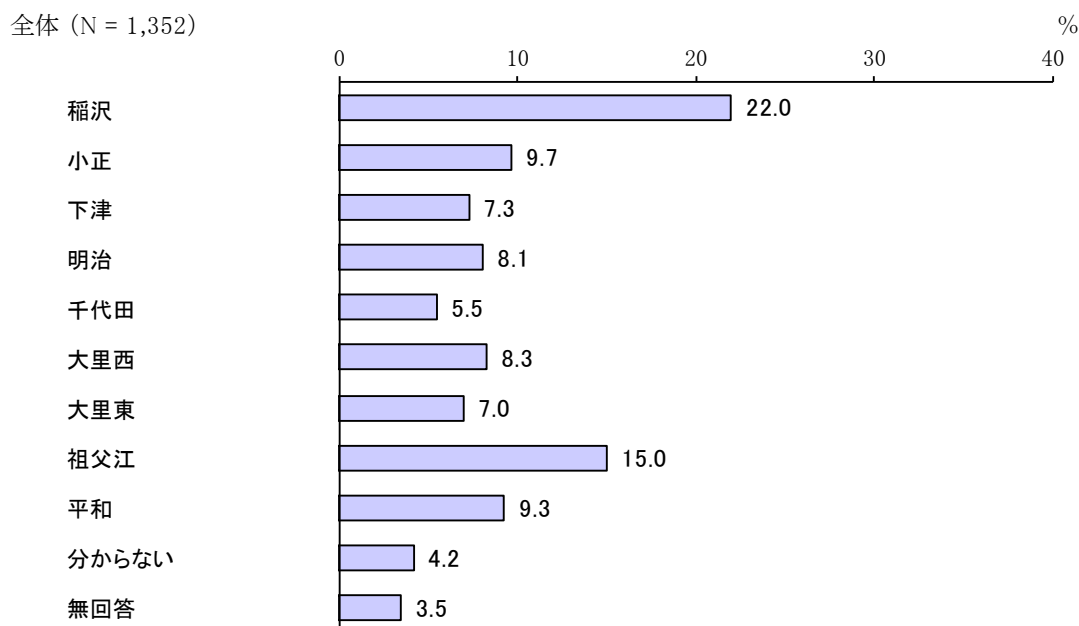
性別をお答え下さい。(どちらかに○)



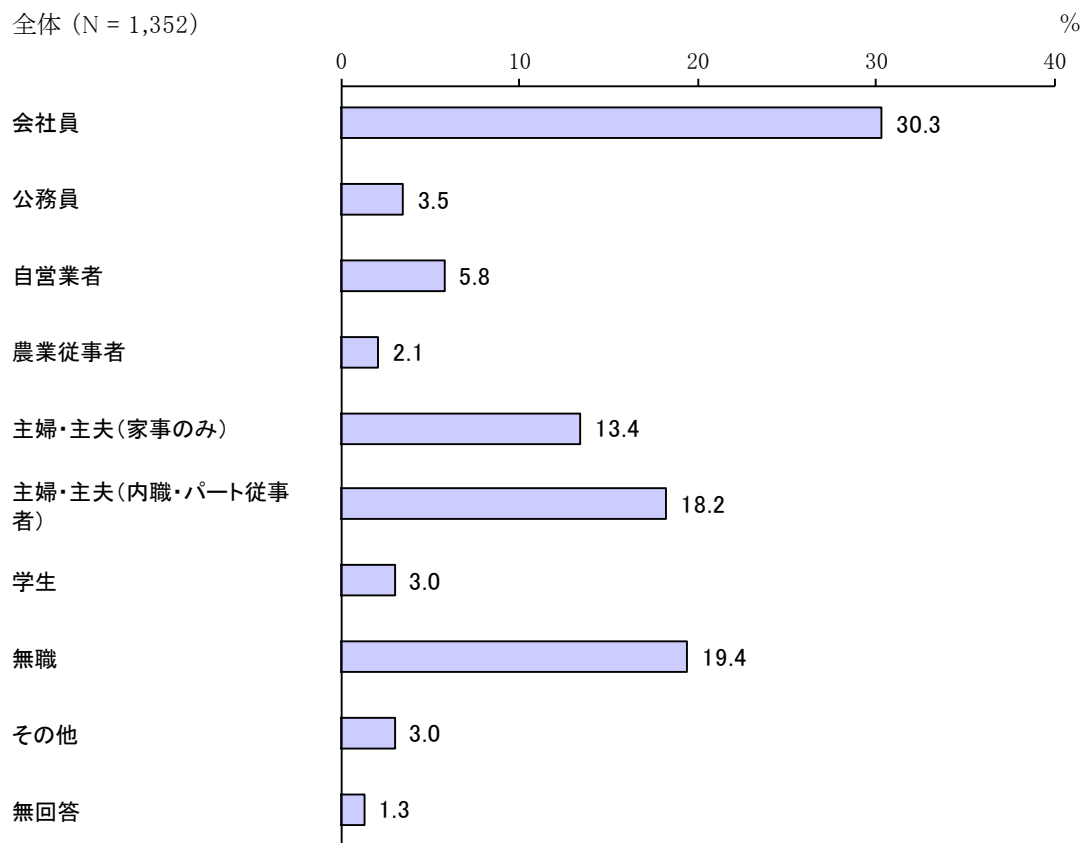
満年齢は何歳代ですか。(○は1つだけ)



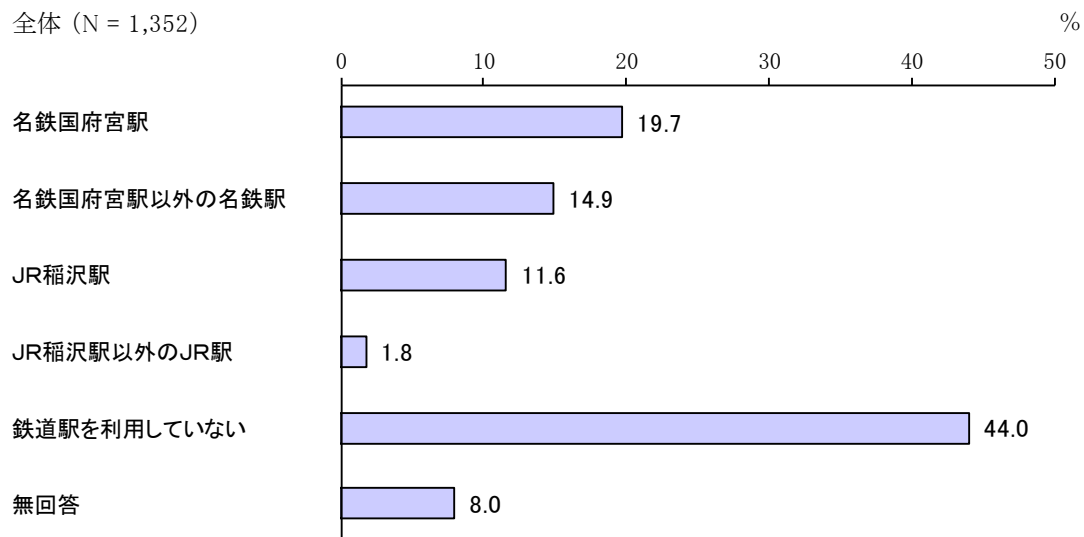
お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つだけ)



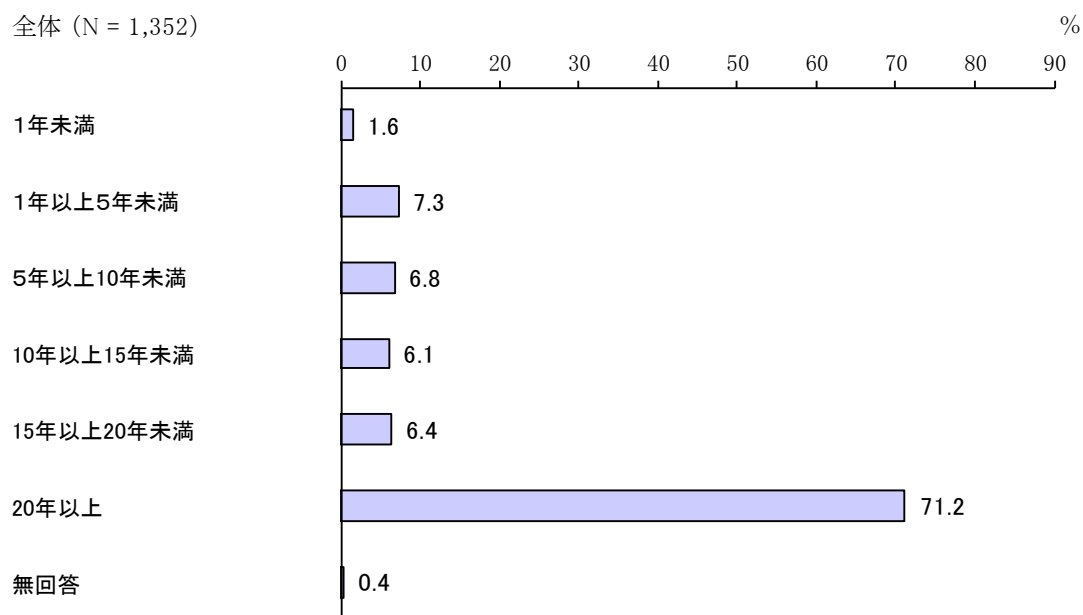
ご職業をお答えください。(〇は1つだけ)



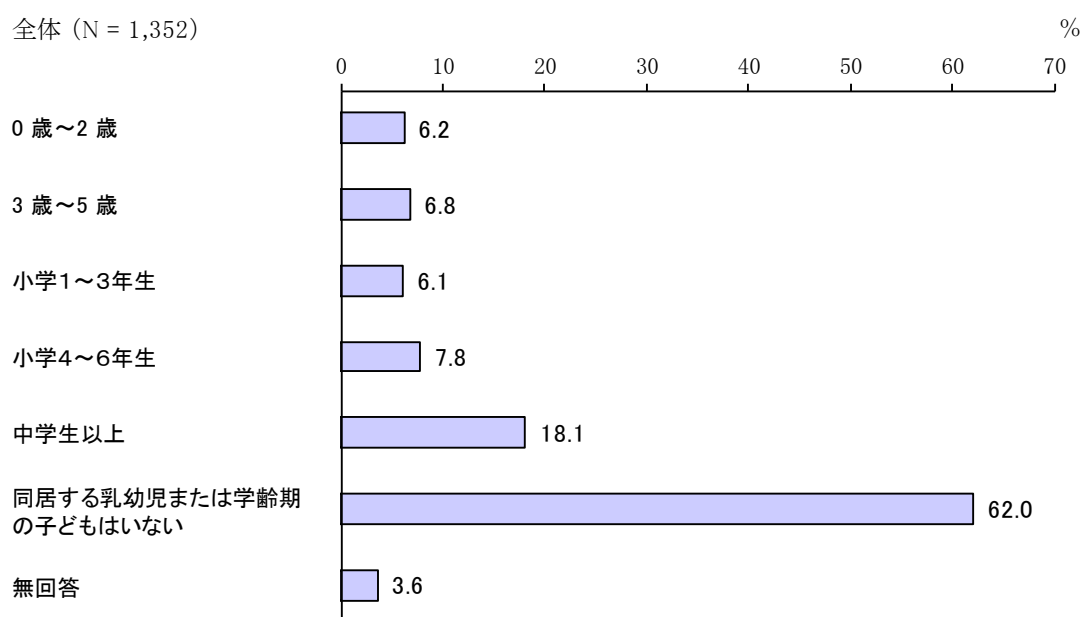
日ごろ通勤・通学などで利用している鉄道駅を選んでください。(〇は1つだけ)



稲沢市の居住年数をお答えください。（○は1つだけ）

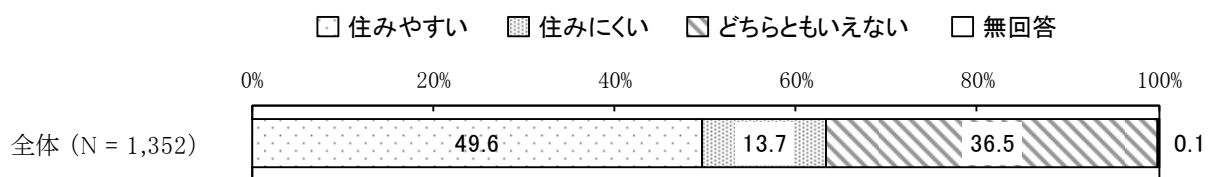


同居する乳幼児または学齢期（高校・大学生を含む）の子どもはいますか。  
（あてはまるもの全てに○）

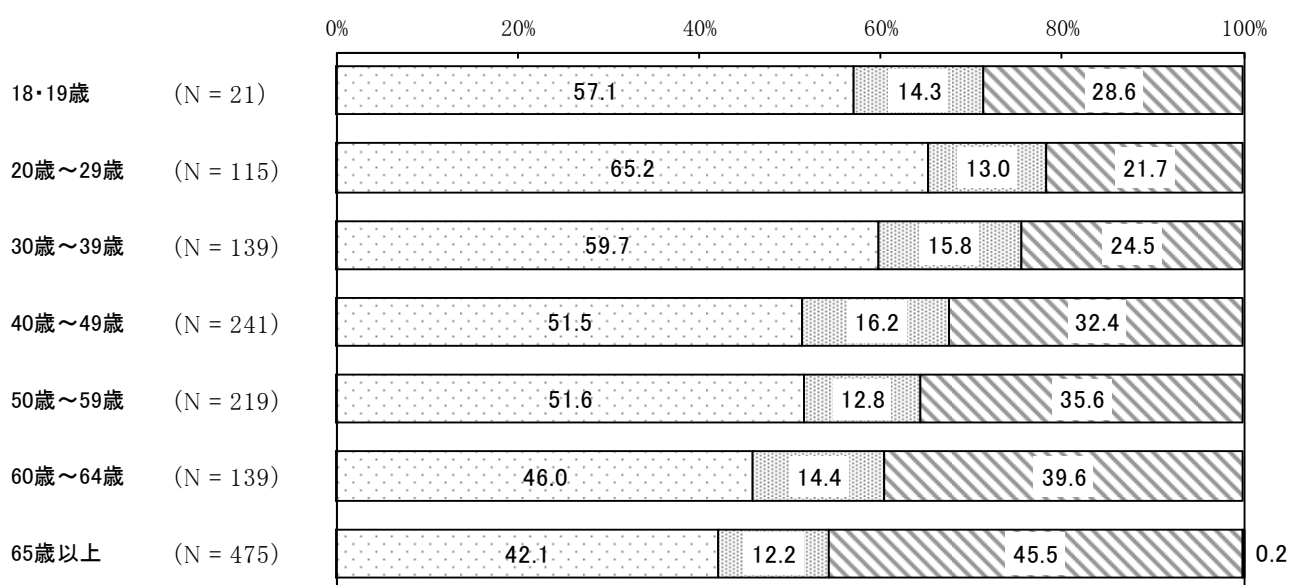


## 2 稲沢市について

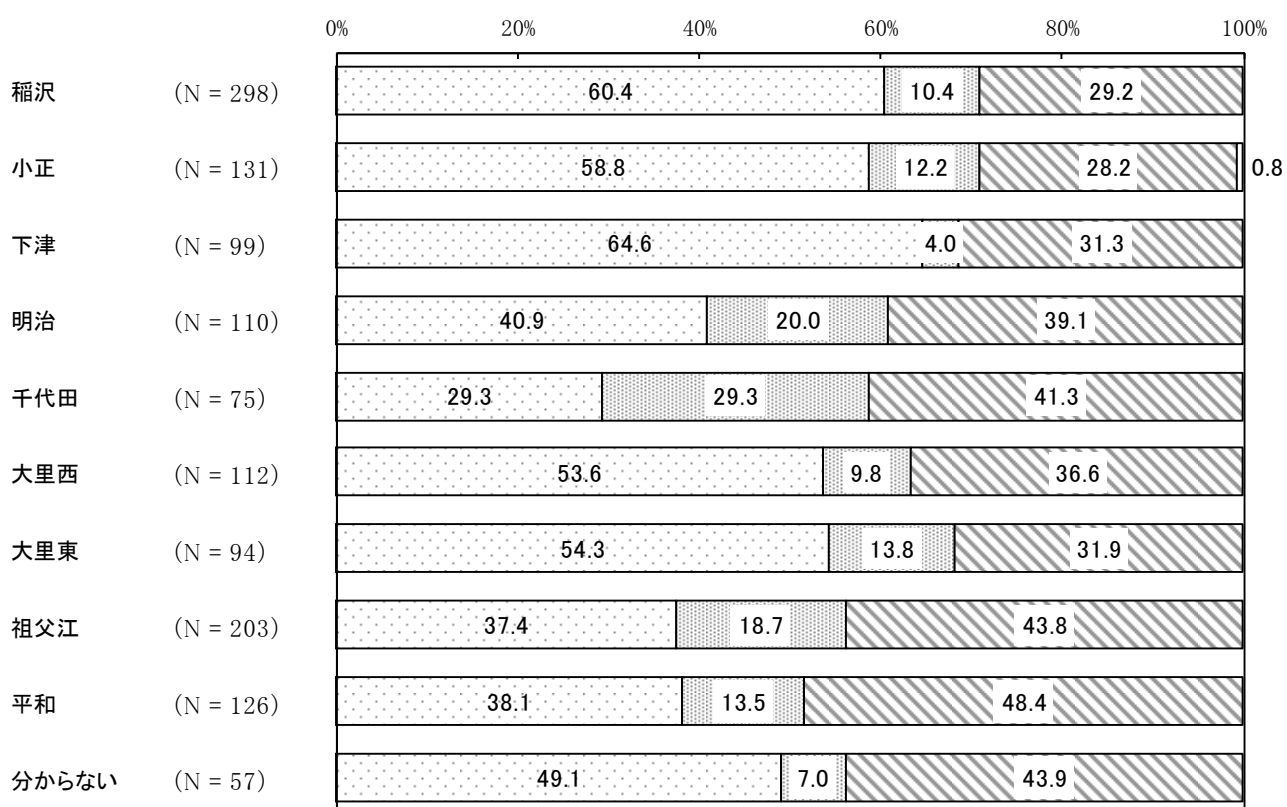
### 問1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)



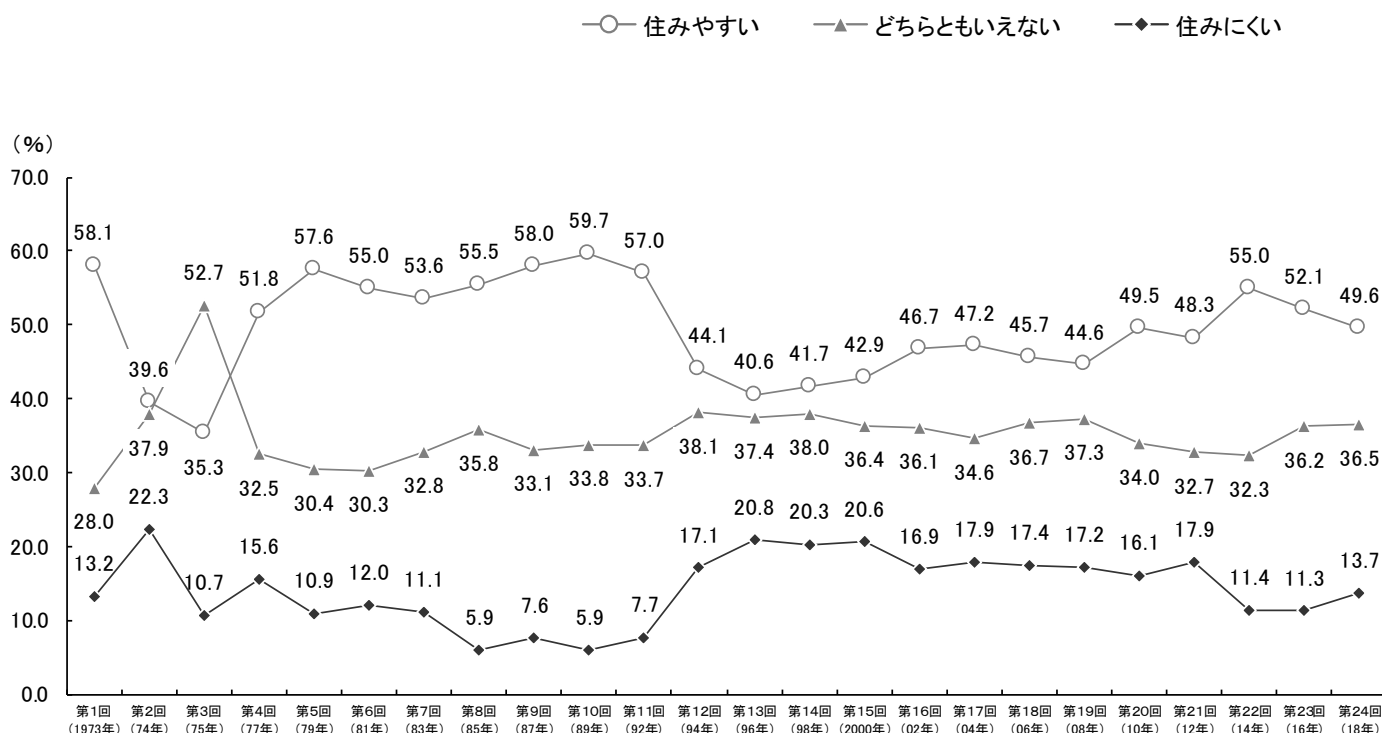
#### 【年齢別】



#### 【居住地区別】



## 【過去調査との比較】



### ●住みやすいと感じているかたは約5割

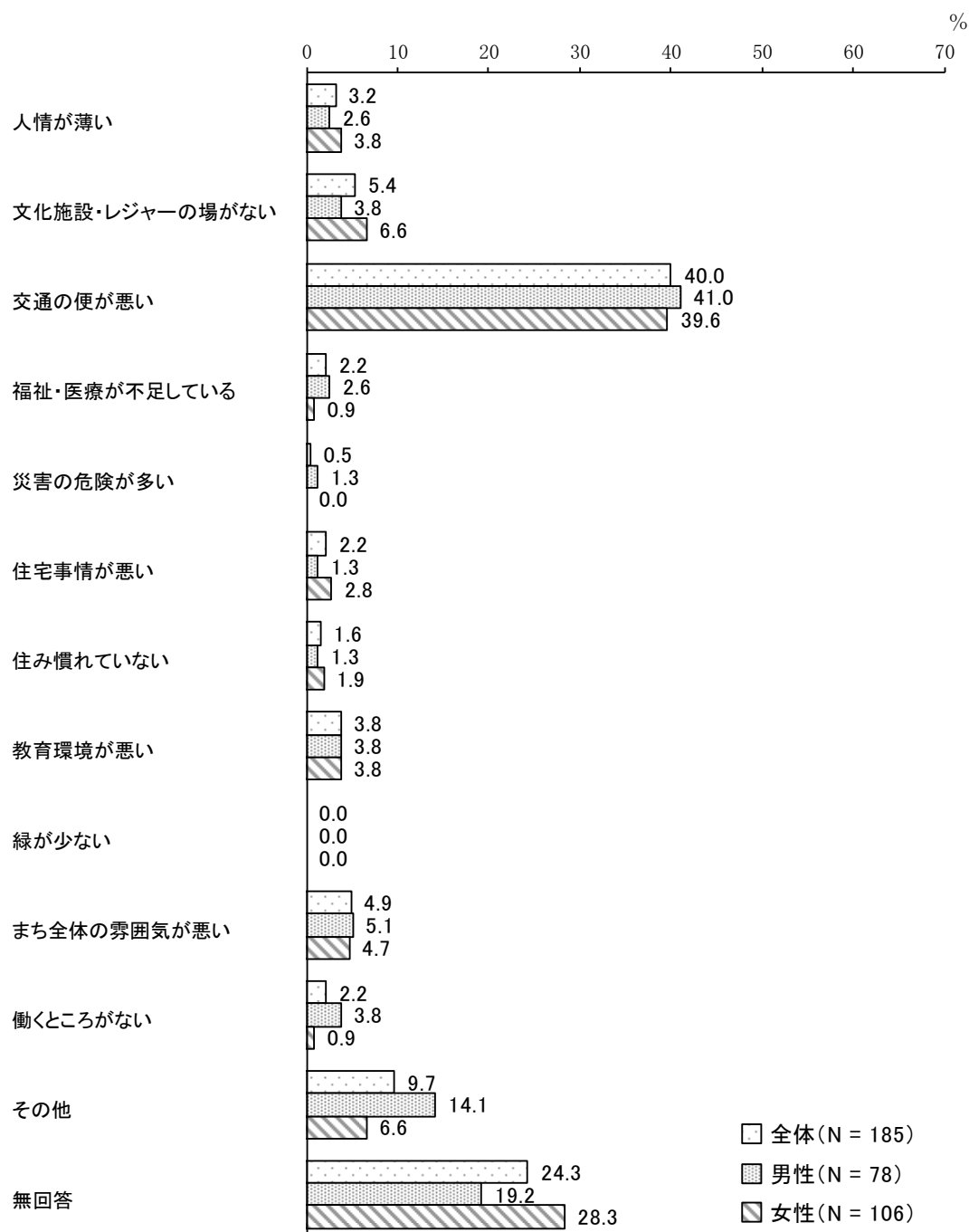
稲沢市を住みやすいところだと感じているかたは、全体で「住みやすい」が49.6%、「住みにくい」が13.7%、「どちらともいえない」が36.5%となっています。

前回調査と比べると、「住みやすい」は2.5ポイント低くなっており50%を下回っています。「住みにくい」はわずかに高くなっています。

年齢別でみると、20歳～29歳で「住みやすい」と感じているかたの割合が他の年代と比べ高くなっています。また、40歳～49歳については「住みにくい」と感じているかたの割合は16.2%と他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、稲沢、下津地区は「住みやすい」と感じているかたの割合が高くなっているのに対し、千代田地区では「住みにくい」と感じているかたの割合が他の居住地区と比べて高くなっています。

問１で「２．住みにくい」と答えたかたにお聞きします。  
 問１－１ 住みにくい理由は何ですか。（○は１つだけ）



## 【居住地区別】

単位：％

| 区分    | 有効回答数<br>(件) | 人情が薄い | 文化施設・レジャーの場がない | 交通の便が悪い | 福祉・医療が不足している | 災害の危険が多い | 住宅事情が悪い | 住み慣れていない | 教育環境が悪い | 緑が少ない | まち全体の雰囲気が悪い | 働くところがない | その他  | 無回答  |
|-------|--------------|-------|----------------|---------|--------------|----------|---------|----------|---------|-------|-------------|----------|------|------|
| 稲沢    | 31           | 3.2   | 12.9           | 22.6    | —            | —        | —       | —        | 6.5     | —     | 9.7         | —        | 9.7  | 35.5 |
| 小正    | 16           | 12.5  | 6.3            | 31.3    | —            | —        | —       | —        | 6.3     | —     | 6.3         | —        | 18.8 | 18.8 |
| 下津    | 4            | —     | 25.0           | —       | —            | —        | —       | —        | —       | —     | —           | —        | 50.0 | 25.0 |
| 明治    | 22           | —     | 4.5            | 50.0    | —            | —        | —       | 4.5      | 9.1     | —     | 4.5         | —        | 4.5  | 22.7 |
| 千代田   | 22           | —     | —              | 54.5    | —            | —        | 4.5     | —        | —       | —     | —           | —        | 18.2 | 22.7 |
| 大里西   | 11           | —     | 9.1            | 36.4    | —            | —        | —       | 9.1      | —       | —     | 9.1         | —        | —    | 36.4 |
| 大里東   | 13           | 7.7   | —              | 23.1    | 7.7          | —        | 7.7     | 7.7      | —       | —     | —           | 7.7      | 15.4 | 23.1 |
| 祖父江   | 38           | —     | 5.3            | 50.0    | 5.3          | —        | —       | —        | 5.3     | —     | 5.3         | 7.9      | 2.6  | 18.4 |
| 平和    | 17           | 5.9   | —              | 64.7    | —            | 5.9      | 5.9     | —        | —       | —     | —           | —        | 5.9  | 11.8 |
| 分からない | 4            | 25.0  | —              | 25.0    | —            | —        | 25.0    | —        | —       | —     | 25.0        | —        | —    | —    |

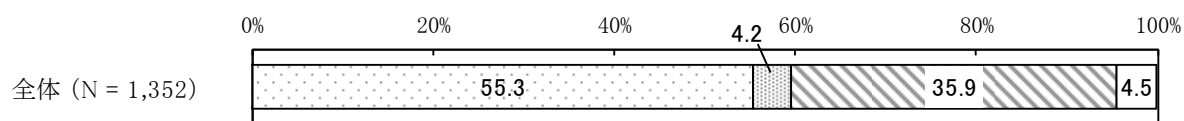
### ●住みにくい理由は「交通の便が悪い」から

住みにくい理由は、全体で「交通の便が悪い」が40.0%と最も高く、次いで「文化施設・レジャーの場がない」が5.4%、「まち全体の雰囲気が悪い」が4.9%となっています。

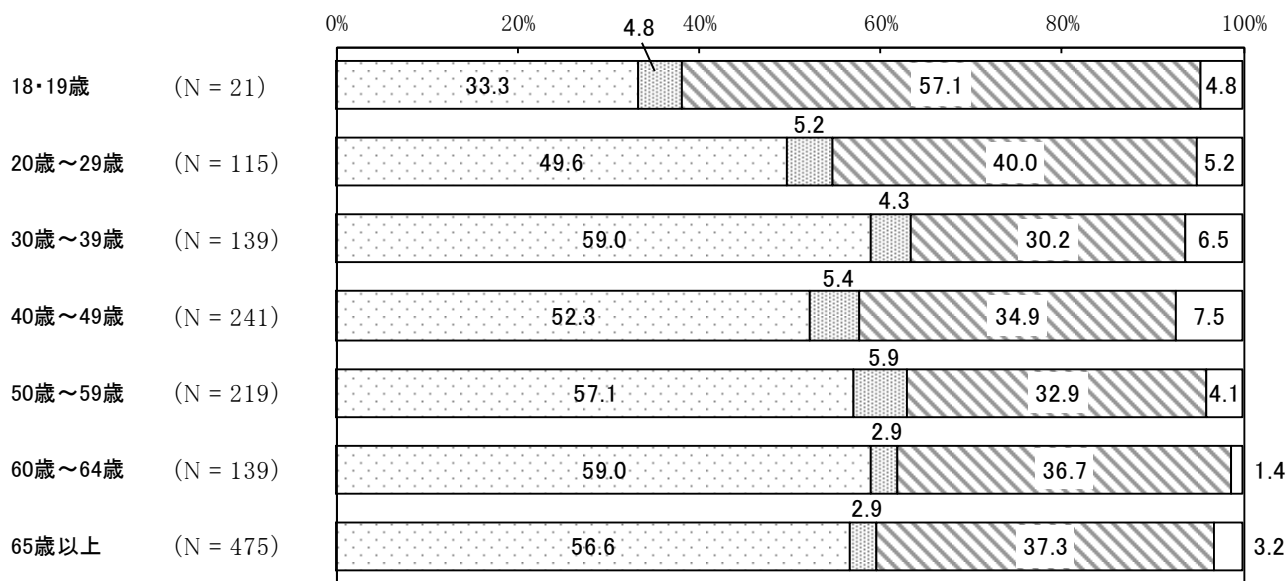
居住地区別にみると、下津地区以外の全ての居住地区で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。

## 問2 これからも稲沢市に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

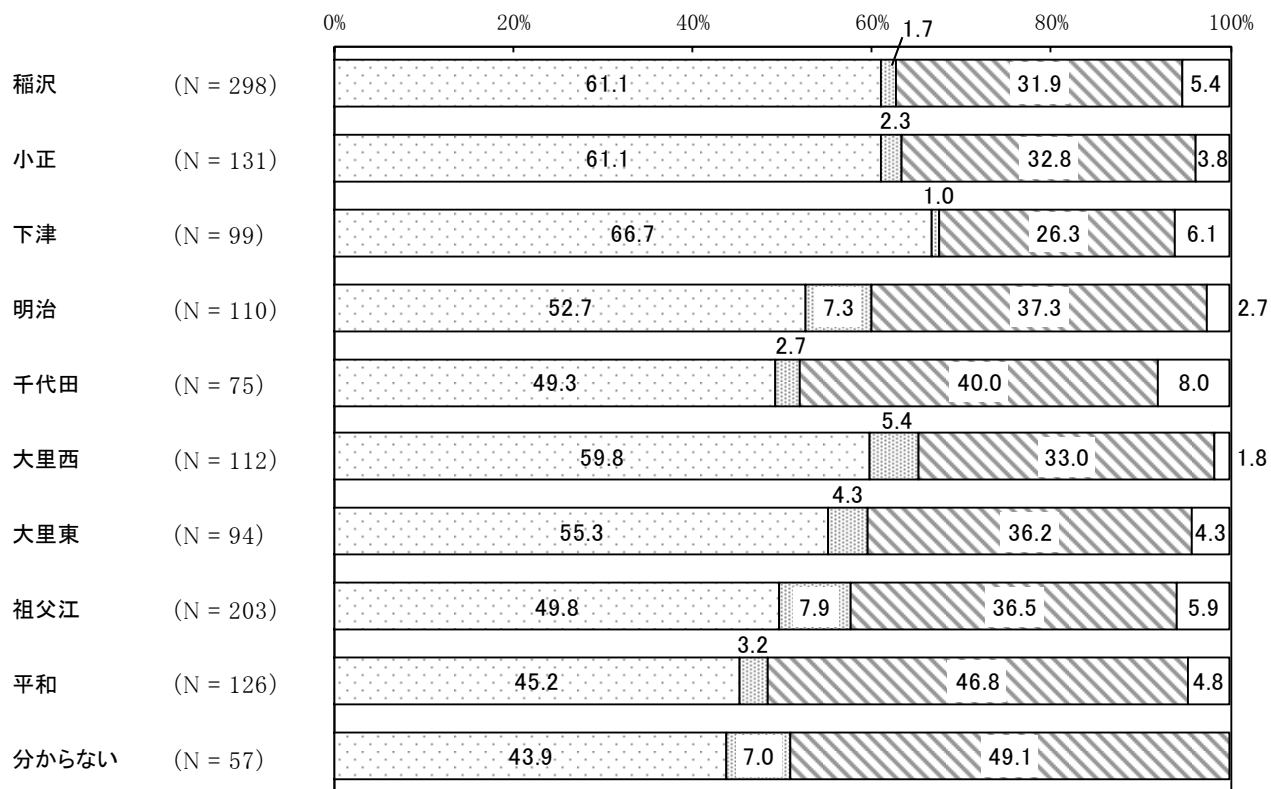
□ 住みたい □ 住みたくない □ どちらともいえない □ 無回答



### 【年齢別】

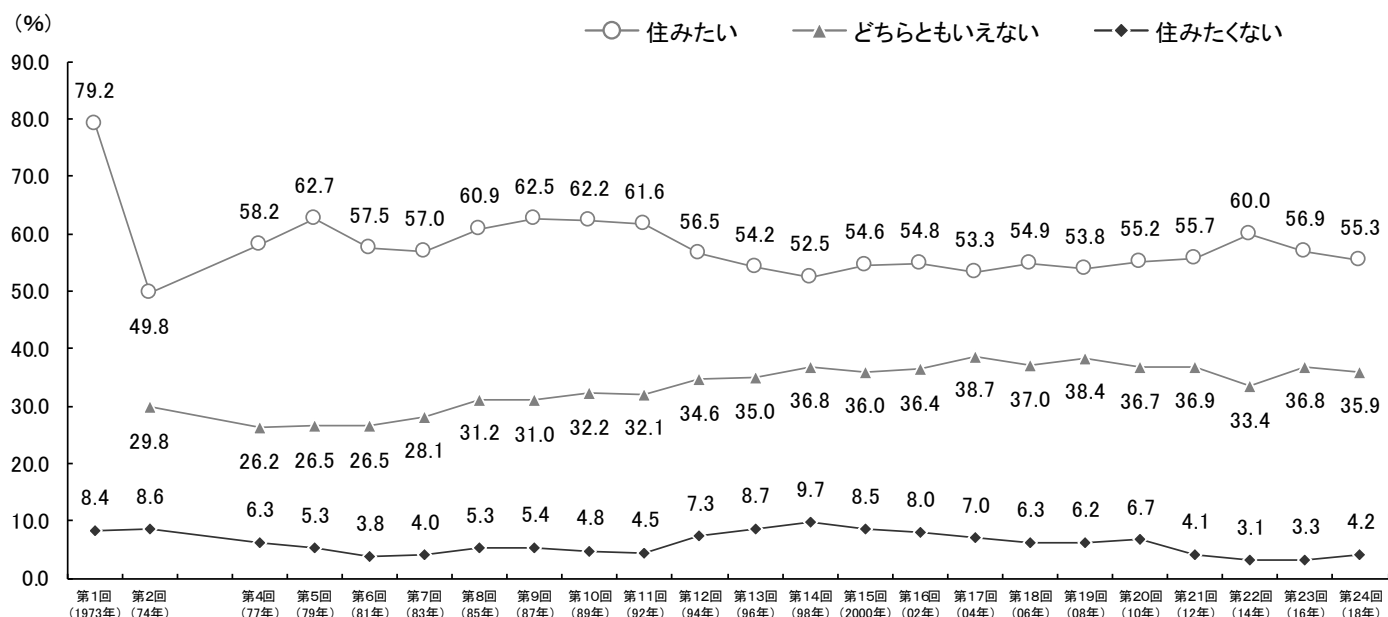


### 【居住地区別】





## 【過去調査との比較】



### ●これからも稲沢市に「住みたい」と思うかたは減少

これからも稲沢市に住みたいと思うかたは、全体で「住みたい」が 55.3%、「住みたくない」が 4.2%、「どちらともいえない」が 35.9%となっています。

前回調査と比べると、「住みたい」は 1.6 ポイント低く、「住みたくない」は 0.9 ポイント高くなっています。

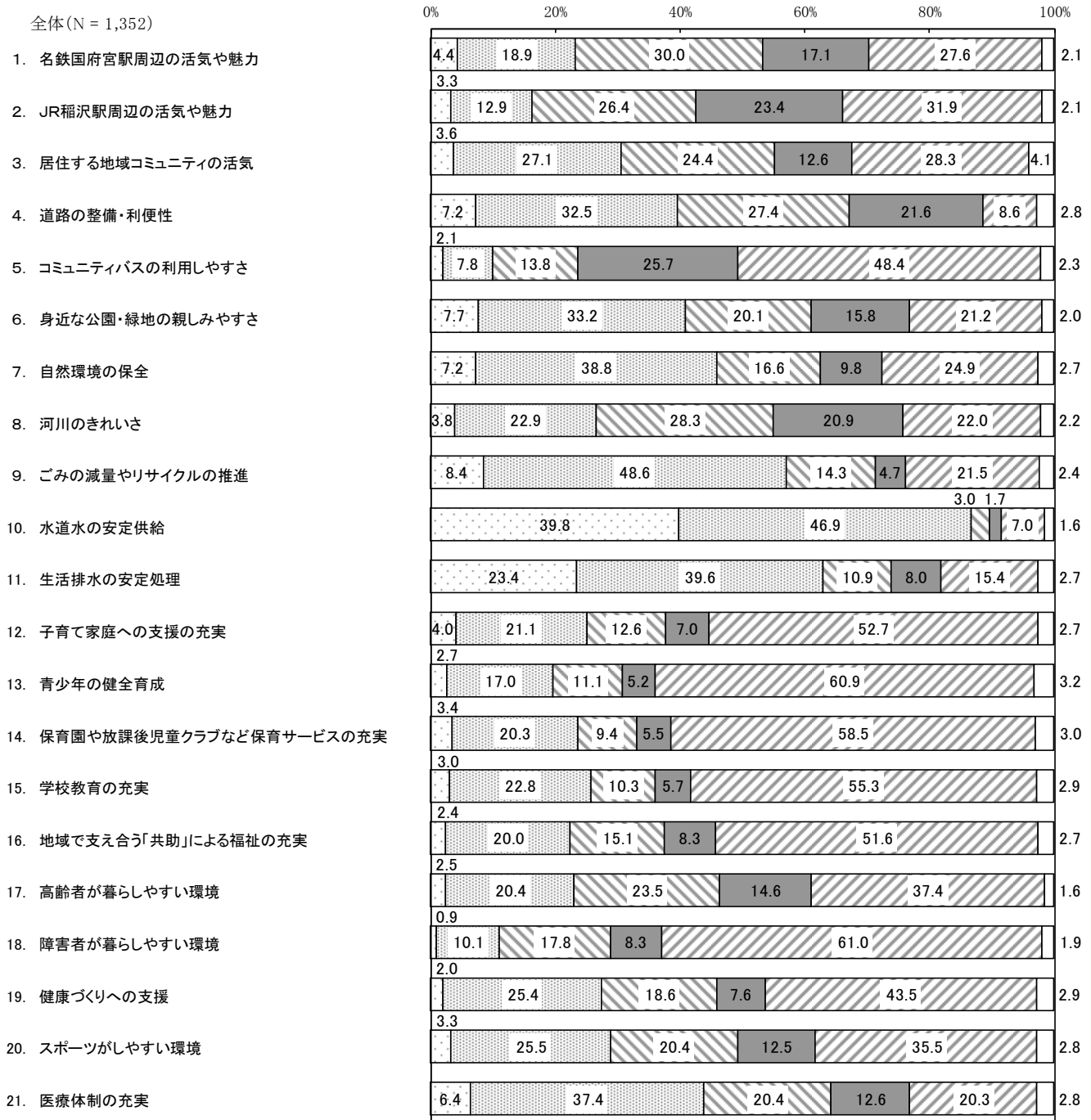
年齢別でみると、30 歳～39 歳、60 歳～64 歳で、「住みたい」と思っているかたは約 6 割と高くなっています。

居住地区別にみると、稲沢、小正、下津地区で「住みたい」と思うかたが 6 割を超え、特に下津地区が高い割合となっているものの、明治、大里西、祖父江地区で「住みたくない」が 5 %以上と他の居住地区よりも高くなっています。

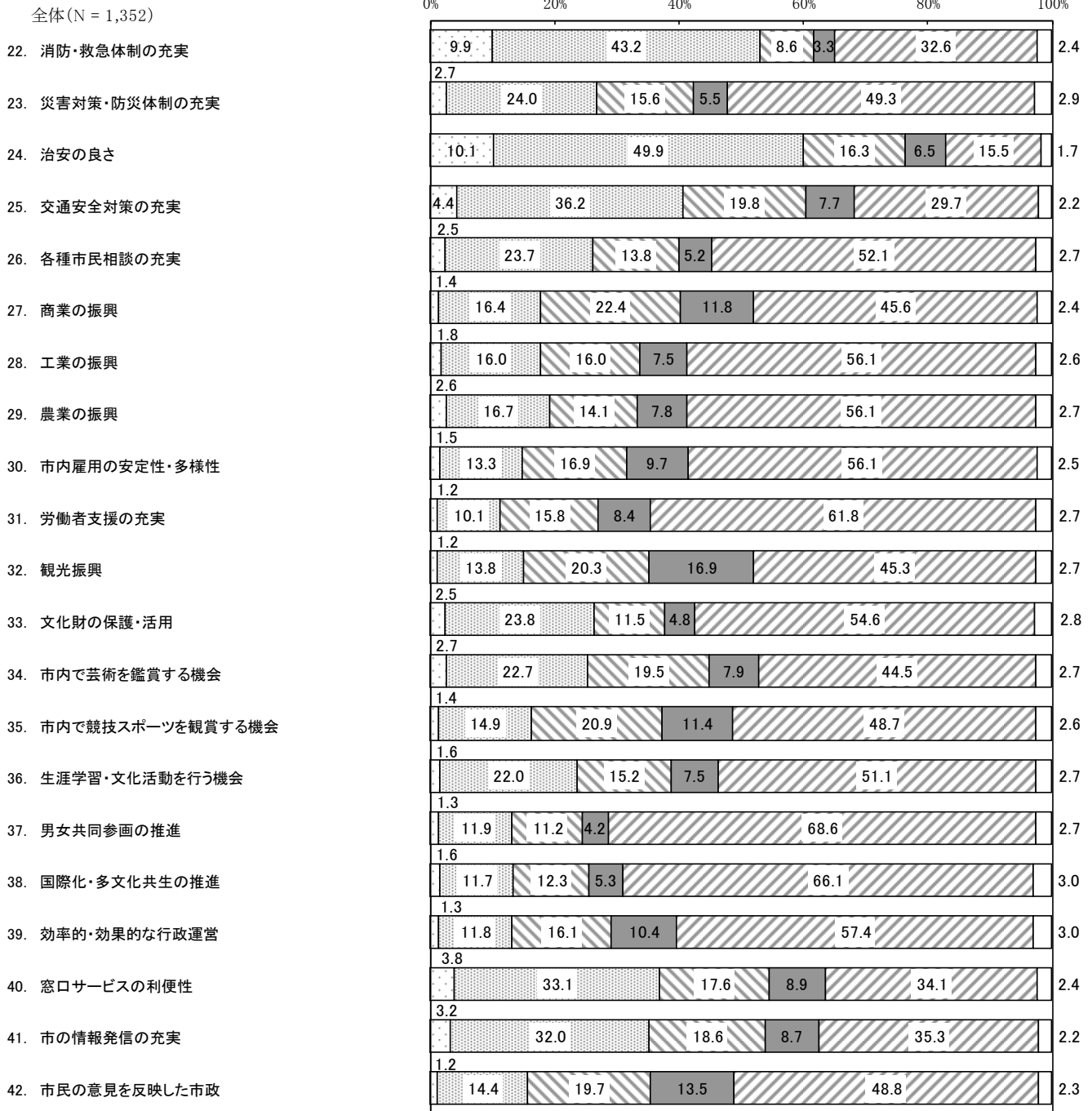
### 問3 稲沢市の現状についてどの程度満足していますか。 (それぞれについて○は1つだけ)

☐ 満足
 ☐ どちらかといえば満足
 ☐ どちらかといえば不満
 ☐ 不満
 ☐ わからない
 ☐ 無回答

全体(N = 1,352)



☐ 満足
 ☐ どちらかといえば満足
 ☐ どちらかといえば不満
 ☐ 不満
 ☐ わからない
 ☐ 無回答

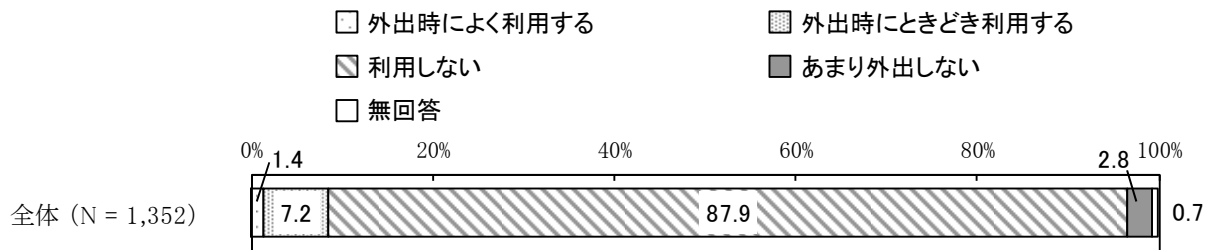


## ●満足していることは、「水道水の安定供給」

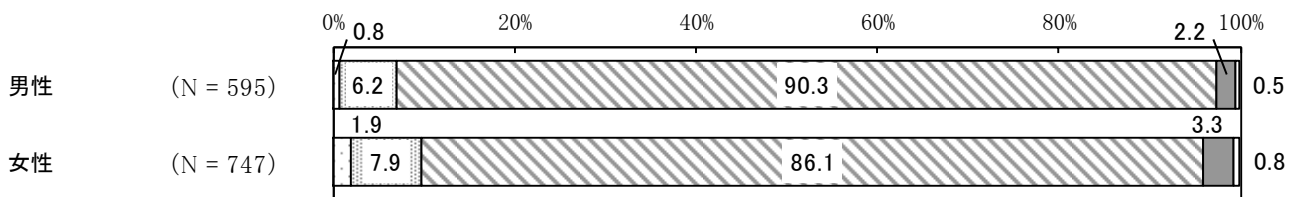
現状について、「10. 水道水の安定供給」は8割、「11. 生活排水の安定処理」「24. 治安の良さ」は6割、「9. ごみの減量やリサイクルの推進」「22. 消防・救急体制の充実」は5割以上の市民が“満足”と感じています。一方、「2. JR稲沢駅周辺の活気や魅力」「4. 道路の整備・利便性」「8. 河川のきれいさ」は約5割の市民が“不満”と感じています。

**問4 あなたは、次の各項目についてどれにあてはまりますか。**  
(それぞれについて○は1つだけ)

**1. あなたは日常の交通手段としてコミュニティバスを利用していますか**



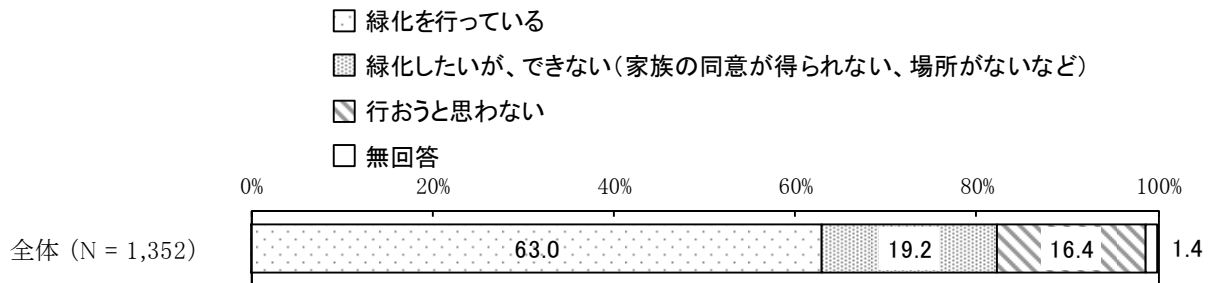
**【性別】**



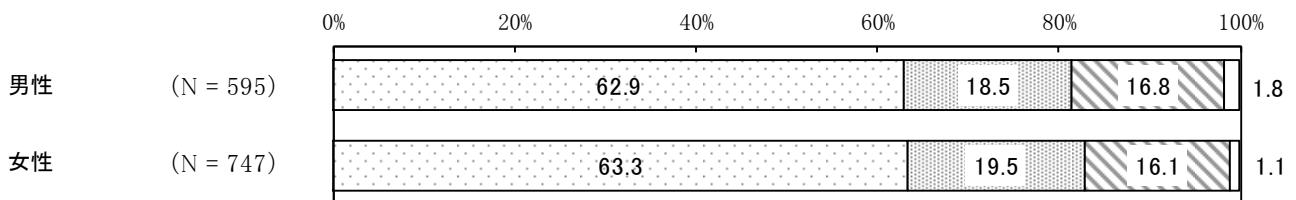
**●日常の交通手段としてコミュニティバスを「利用しない」が8割半ば**

日常の交通手段としてコミュニティバスを利用しているかは、全体で「利用しない」が87.9%と最も高くなっています。

**2. あなたの家庭では自宅などの緑化を行っていますか**



**【性別】**

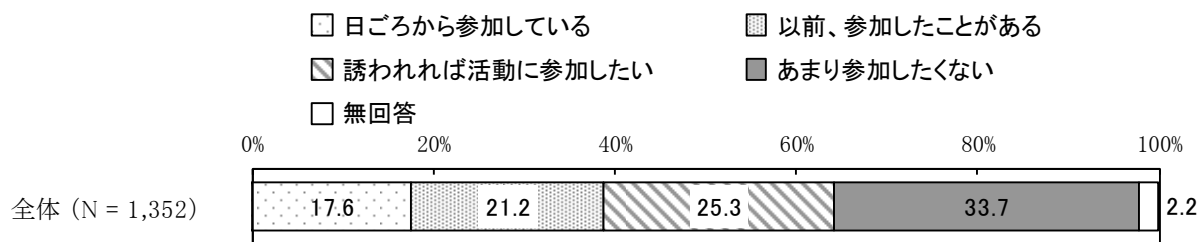


**●自宅などの「緑化を行っている」が6割半ば**

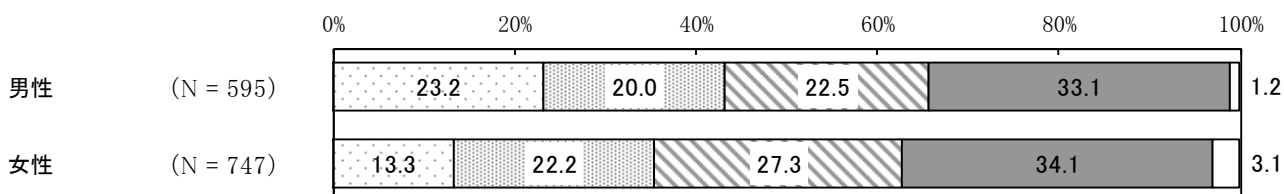
自宅などの緑化を行っているかは、全体で「緑化を行っている」が63.0%と最も高く、次いで「緑化したいが、できない(家族の同意が得られない、場所がないなど)」が19.2%、「行おうと思わない」が16.4%となっています。

性別で、大きな差異はみられません。

### 3. あなたは環境美化活動に参加していますか



#### 【性別】

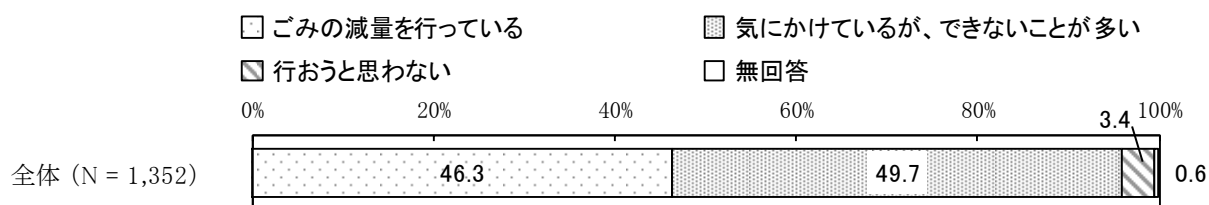


#### ●環境美化活動に「あまり参加したくない」が3割半ば

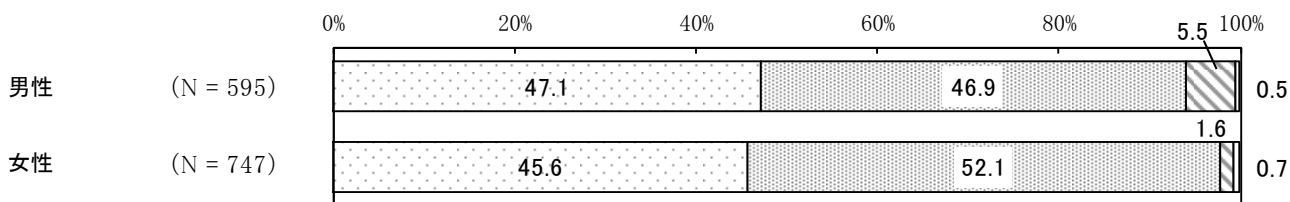
環境美化活動に参加しているかは、全体で「あまり参加したくない」が33.7%と最も高く、次いで「誘われれば活動に参加したい」が25.3%、「以前、参加したことがある」が21.2%となっています。

性別でみると、男性で「日ごろから参加している」が23.2%と、女性と比べて9.9ポイント高くなっています。

### 4. あなたはごみの減量を行っていますか



#### 【性別】

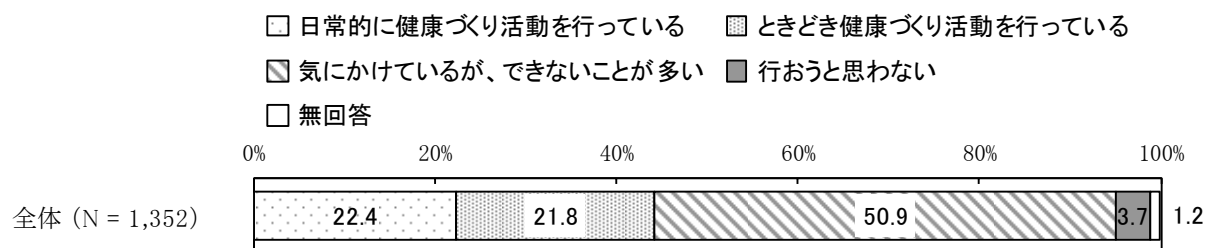


#### ●ごみの減量を「気にかけているが、できないことが多い」が約5割

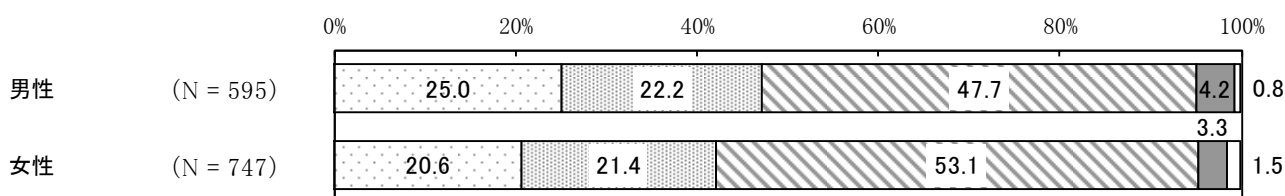
ごみの減量を行っているかは、全体で「気にかけているが、できないことが多い」が49.7%と最も高く、次いで「ごみの減量を行っている」が46.3%となっています。

性別でみると、女性で「気にかけているが、できないことが多い」が52.1%と、男性に比べて5.2ポイント高くなっています。

## 5. あなたは日ごろから健康維持・増進活動を行っていますか



### 【性別】

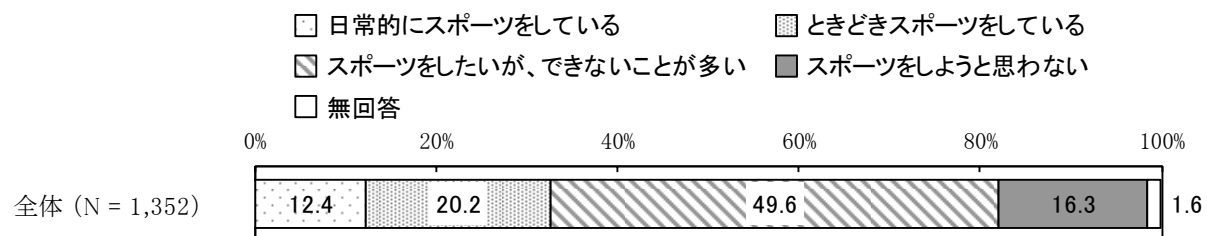


## ●日ごろから健康維持・増進活動を「気にかけているが、できないことが多い」が約5割

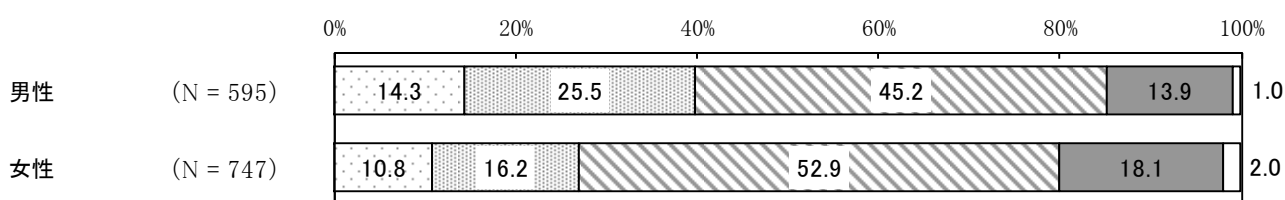
日ごろから健康維持・増進活動を行っているかは、全体で「気にかけているが、できないことが多い」が50.9%と最も高く、次いで「日常的に健康づくり活動を行っている」が22.4%、「ときどき健康づくり活動を行っている」が21.8%となっています。

性別でみると、女性で「気にかけているが、できないことが多い」が53.1%と、男性に比べて5.4ポイント高くなっています。

## 6. あなたは日ごろからスポーツに親しんでいますか



### 【性別】

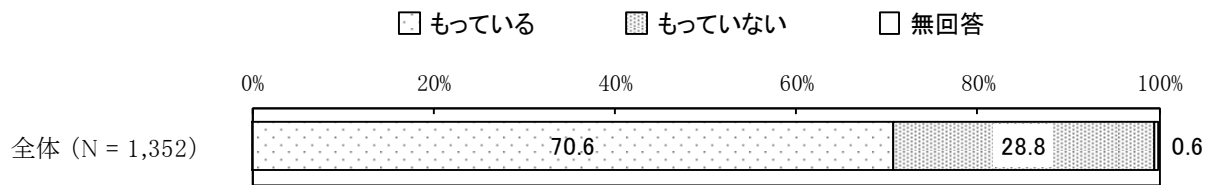


## ●「日ごろからスポーツに親しんでいるか」には「スポーツをしたいが、できないことが多い」が約5割

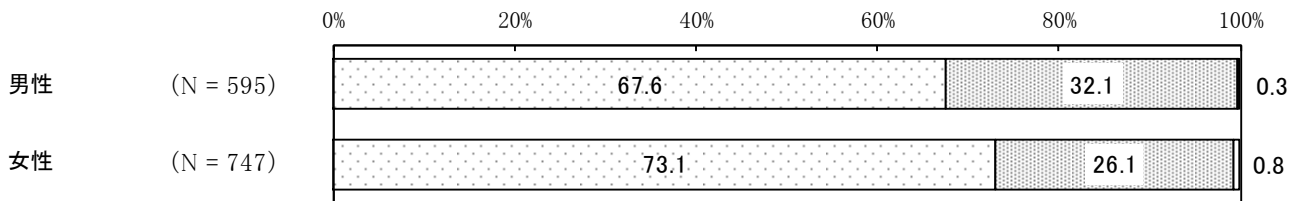
日ごろからスポーツに親しんでいるかは、全体で「スポーツをしたいが、できないことが多い」が49.6%と最も高く、次いで「ときどきスポーツをしている」が20.2%、「スポーツをしようと思わない」が16.3%となっています。

性別でみると、男性で「日常的にスポーツをしている」と「ときどきスポーツをしている」で39.8%と、女性に比べて12.8ポイント高くなっています。一方、女性で「スポーツをしたいが、できないことが多い」が52.9%と、男性に比べて7.7ポイント高くなっています。

## 7. あなたはかかりつけ医をもっていますか



### 【性別】

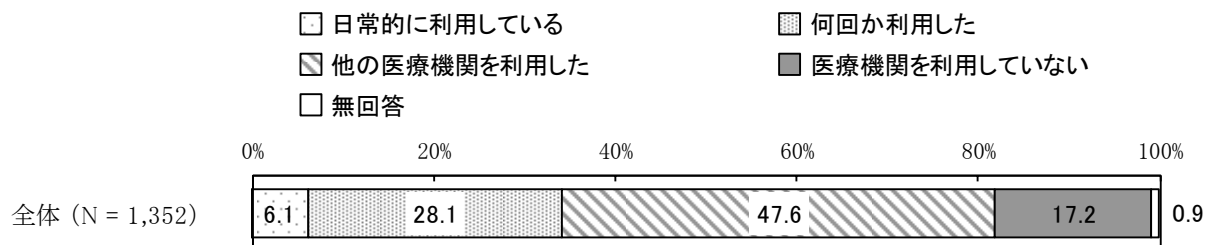


### ●かかりつけ医を「もっている」が約7割

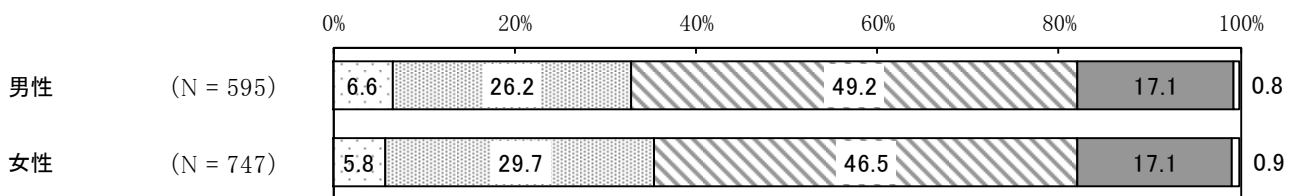
かかりつけ医があるかは、全体で「もっている」が70.6%、「もっていない」が28.8%となっています。

性別でみると、男性で「もっていない」が32.1%と、女性に比べて6.0ポイント高くなっています。

## 8. あなたは市民病院が開院（平成26年11月）してから利用しましたか



### 【性別】

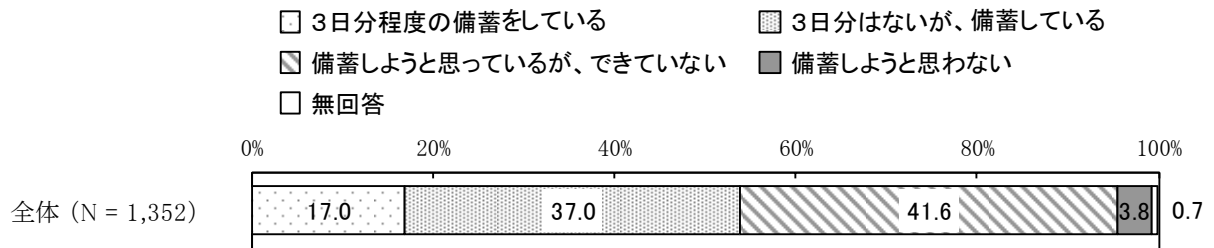


### ●「日常的に利用している」と「何回か利用した」で3割半ば

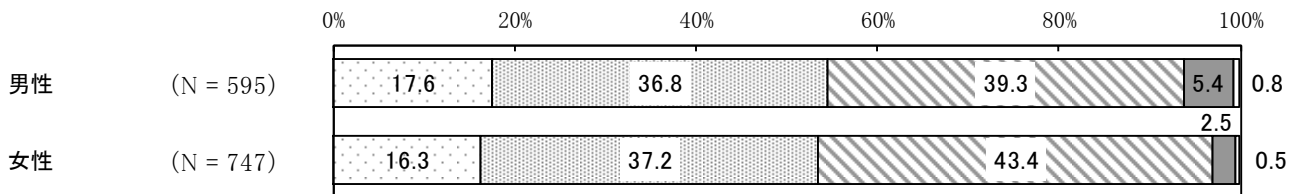
市民病院が開院してから利用しているかは、全体で「他の医療機関を利用した」が47.6%と最も高く、次いで「何回か利用した」が28.1%、「医療機関を利用していない」が17.2%となっています。

性別で、大きな差異はみられません。

## 9. あなたのご家庭では災害時の飲料水や食糧を備蓄していますか



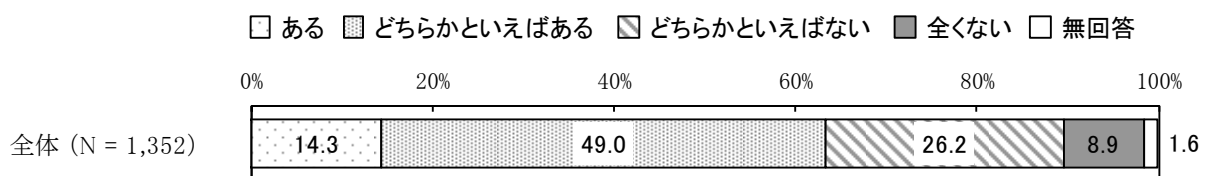
### 【性別】



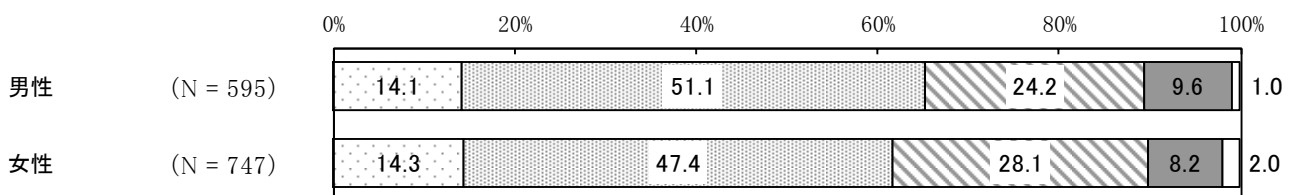
### ●災害時の飲料水や食糧を備蓄しているかは「備蓄しようと思っているが、できていない」が4割越え

災害時の飲料水や食糧を備蓄しているかは、全体で「備蓄しようと思っているが、できていない」が41.6%と最も高く、次いで「3日分はないが、備蓄している」が37.0%、「3日分程度の備蓄をしている」が17.0%となっています。

## 10. あなたは稲沢市に対する誇りや愛着がありますか



### 【性別】



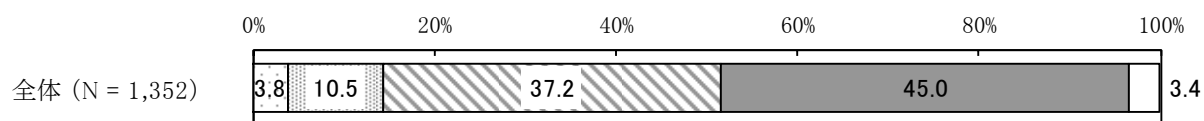
### ●稲沢市に対する誇りや愛着は「ある」と「どちらかといえばある」で6割以上

稲沢市に対する誇りや愛着があるかは、全体で「どちらかといえばある」が49.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばない」が26.2%、「ある」が14.3%となっています。

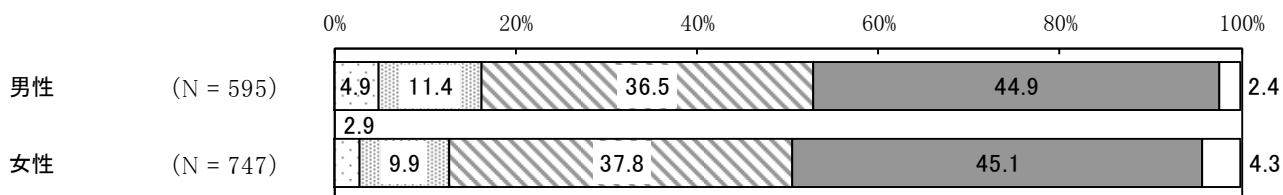


## 11. あなたは行政と市民（企業やNPO含む）の協働によるまちづくり活動をしていますか

- ☐ 活動団体に所属して活動している      ☐ 機会があれば、活動している  
☐ 活動したいと思っているが、できていない      ☐ 活動しようと思わない  
☐ 無回答



### 【性別】

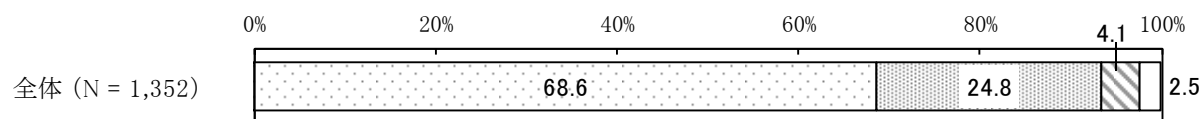


## ●行政と市民の協働によるまちづくり活動は「活動しようと思わない」が4割半ば

行政と市民の協働によるまちづくり活動をしているかは、全体で「活動しようと思わない」が45.0%と最も高く、次いで「活動したいと思っているが、できていない」が37.2%、「機会があれば、活動している」が10.5%となっています。

**問5 現在、「広報いなざわ」をはじめ各種行政文書は、毎月1回区長を通じて配布しています。今後、この配布方法をどのようにすべきだと思いますか。(○は1つだけ)**

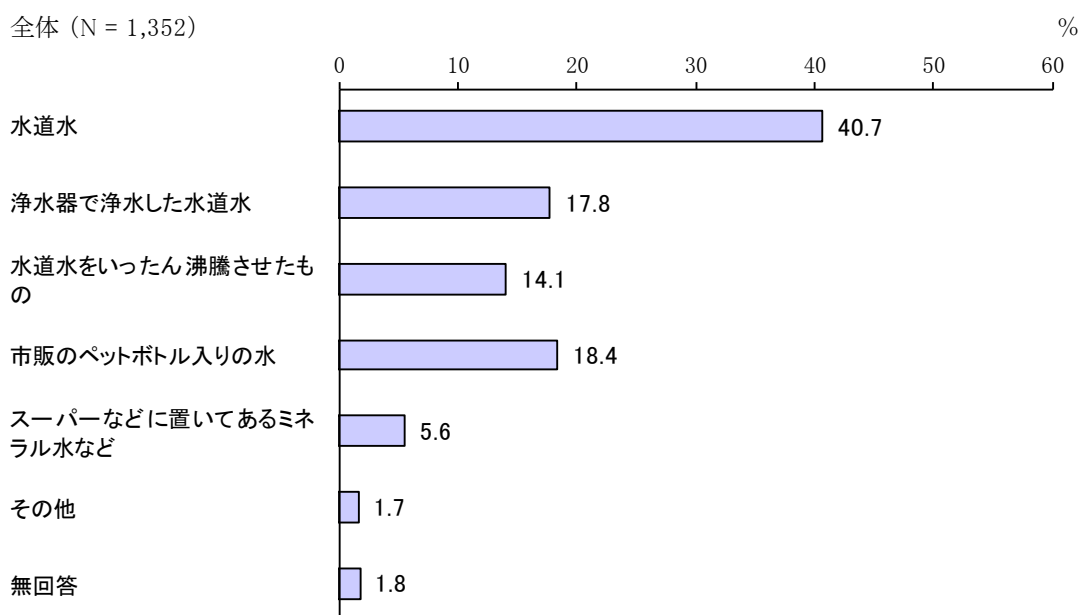
- ☐ 現状のとおり      ☐ 業者による全戸配布方式(ポスティング)      ☐ その他      ☐ 無回答



## ●「現状のとおり」が高い割合

「現状のとおり」の割合が68.6%、「業者による全戸配布方式(ポスティング)」の割合が24.8%となっています。

## 問6 飲料水として、最も利用する水は何ですか。(○は1つだけ)



### 【年齢別】

単位：%

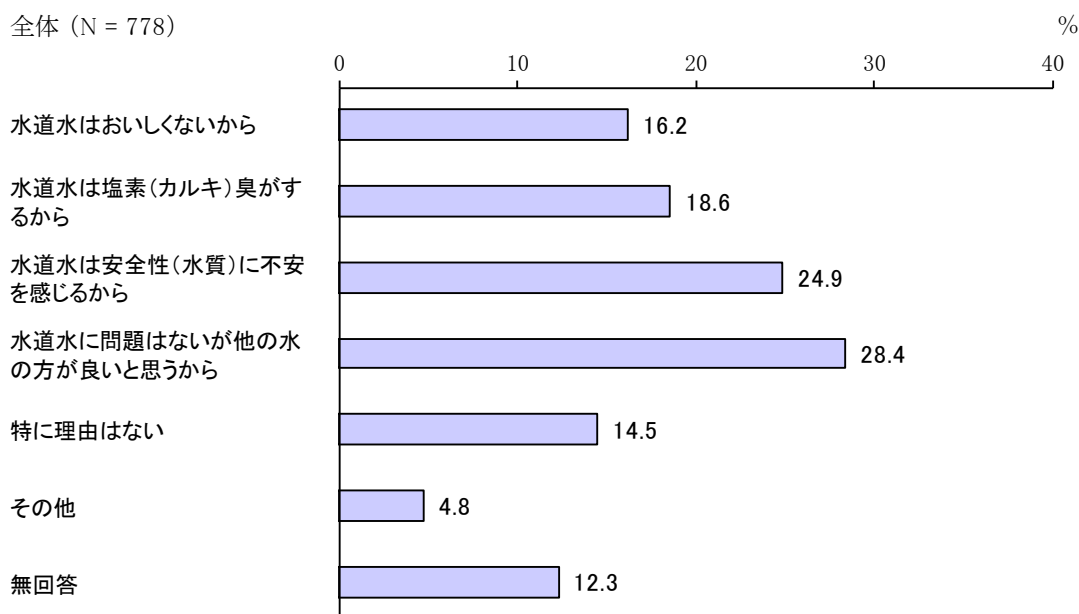
| 区分        | 有効回答数(件) | 水道水  | 浄水器で浄水した水道水 | 水道水をいったん沸騰させたもの | 市販のペットボトル入りの水 | スーパーなどに置いてあるミネラル水など | その他 | 無回答 |
|-----------|----------|------|-------------|-----------------|---------------|---------------------|-----|-----|
| 18・19 歳   | 21       | 23.8 | 19.0        | 4.8             | 33.3          | 14.3                | 4.8 | —   |
| 20 歳～29 歳 | 115      | 33.0 | 20.0        | 16.5            | 19.1          | 6.1                 | 3.5 | 1.7 |
| 30 歳～39 歳 | 139      | 23.7 | 24.5        | 19.4            | 23.0          | 5.8                 | 2.2 | 1.4 |
| 40 歳～49 歳 | 241      | 35.7 | 22.0        | 16.2            | 19.1          | 4.6                 | 0.8 | 1.7 |
| 50 歳～59 歳 | 219      | 39.3 | 21.0        | 10.0            | 21.0          | 5.5                 | 1.8 | 1.4 |
| 60 歳～64 歳 | 139      | 42.4 | 20.1        | 11.5            | 18.0          | 4.3                 | 2.2 | 1.4 |
| 65 歳以上    | 475      | 51.2 | 10.9        | 13.9            | 14.3          | 6.1                 | 1.3 | 2.3 |

### ●「水道水を利用」が65歳以上で高い割合

「水道水」の割合が40.7%と最も高く、次いで「市販のペットボトル入りの水」の割合が18.4%、「浄水器で浄水した水道水」の割合が17.8%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳以上で「水道水」の割合が高くなっています。また、18・19歳で「市販のペットボトル入りの水」の割合が高くなっています。

問6で、「1. 水道水」以外を選択したかたにお聞きします。  
問6-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



## 【年齢別】

単位：%

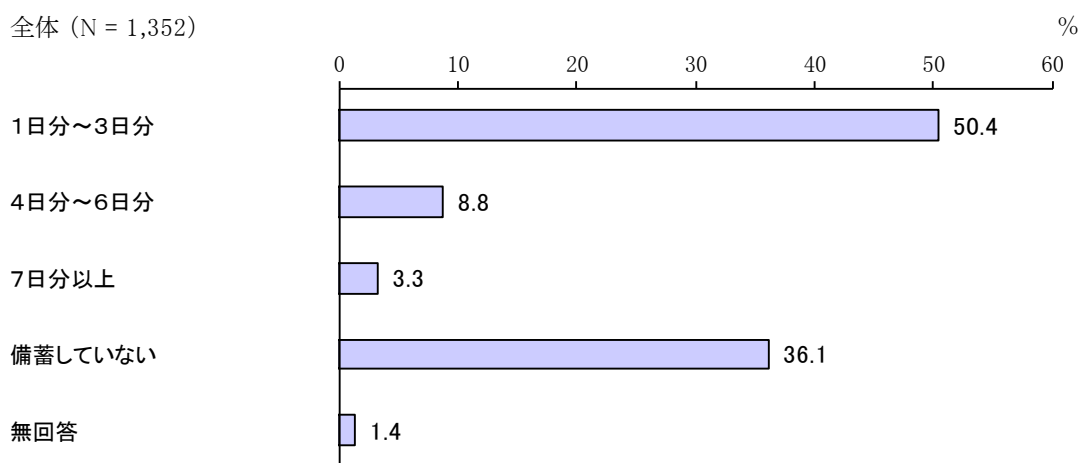
| 区分        | 有効回答数(件) | 水道水はおいしくないから | 水道水は塩素(カルキ)臭がするから | 水道水は安全性(水質)に不安を感じるから | 水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから | 特に理由はない | その他 | 無回答  |
|-----------|----------|--------------|-------------------|----------------------|-------------------------|---------|-----|------|
| 18・19 歳   | 16       | 25.0         | 6.3               | 31.3                 | 37.5                    | 6.3     | 6.3 | 6.3  |
| 20 歳～29 歳 | 75       | 29.3         | 14.7              | 37.3                 | 21.3                    | 14.7    | 5.3 | 9.3  |
| 30 歳～39 歳 | 104      | 20.2         | 21.2              | 33.7                 | 22.1                    | 11.5    | 9.6 | 6.7  |
| 40 歳～49 歳 | 151      | 20.5         | 20.5              | 28.5                 | 23.2                    | 12.6    | 6.6 | 10.6 |
| 50 歳～59 歳 | 130      | 13.1         | 20.8              | 27.7                 | 30.8                    | 15.4    | 3.1 | 11.5 |
| 60 歳～64 歳 | 78       | 9.0          | 24.4              | 19.2                 | 39.7                    | 11.5    | 5.1 | 11.5 |
| 65 歳以上    | 221      | 10.0         | 15.4              | 14.5                 | 31.2                    | 18.1    | 1.8 | 18.6 |

## ●「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が高い割合

「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「水道水は安全性(水質)に不安を感じるから」の割合が 24.9%、「水道水は塩素(カルキ)臭がするから」の割合が 18.6%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、20 歳～29 歳で「水道水はおいしくないから」の割合が高くなっています。また、60 歳～64 歳で「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」の割合が高くなっています。

**問7 災害に備え水を備蓄する目安は、7日分（1日1人3リットル）となっています。  
あなたの家では、災害時に利用できる飲料水を何日分備蓄していますか。  
（〇は1つだけ）**



#### 【年齢別】

単位：％

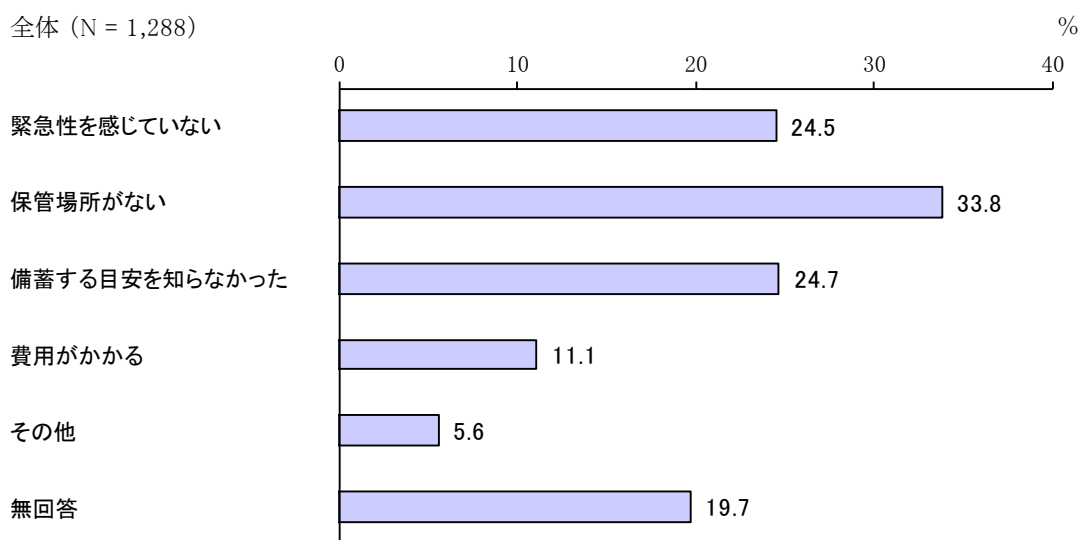
| 区分        | 有効回答数<br>(件) | 1日分～3日分 | 4日分～6日分 | 7日分以上 | 備蓄していない | 無回答 |
|-----------|--------------|---------|---------|-------|---------|-----|
| 18・19 歳   | 21           | 52.4    | 9.5     | —     | 33.3    | 4.8 |
| 20 歳～29 歳 | 115          | 45.2    | 3.5     | 7.0   | 43.5    | 0.9 |
| 30 歳～39 歳 | 139          | 53.2    | 4.3     | 3.6   | 38.1    | 0.7 |
| 40 歳～49 歳 | 241          | 52.7    | 7.5     | 1.2   | 37.8    | 0.8 |
| 50 歳～59 歳 | 219          | 46.1    | 9.1     | 3.2   | 41.6    | —   |
| 60 歳～64 歳 | 139          | 52.5    | 7.9     | 2.2   | 36.0    | 1.4 |
| 65 歳以上    | 475          | 50.9    | 12.0    | 3.8   | 30.7    | 2.5 |

#### ●「1日分～3日分」が高い割合

「1日分～3日分」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が 36.1%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、65 歳以上で「4日分～6日分」の割合が高くなっています。また、20 歳～29 歳、50 歳～59 歳で「備蓄していない」の割合が高くなっています。

問7で、「3.7日分以上」以外を選択したかたにお聞きします。  
 問7-1 7日分以上の飲料水の備蓄をしていない理由は何ですか。  
 (あてはまるもの全てに○)



#### 【年齢別】

単位：%

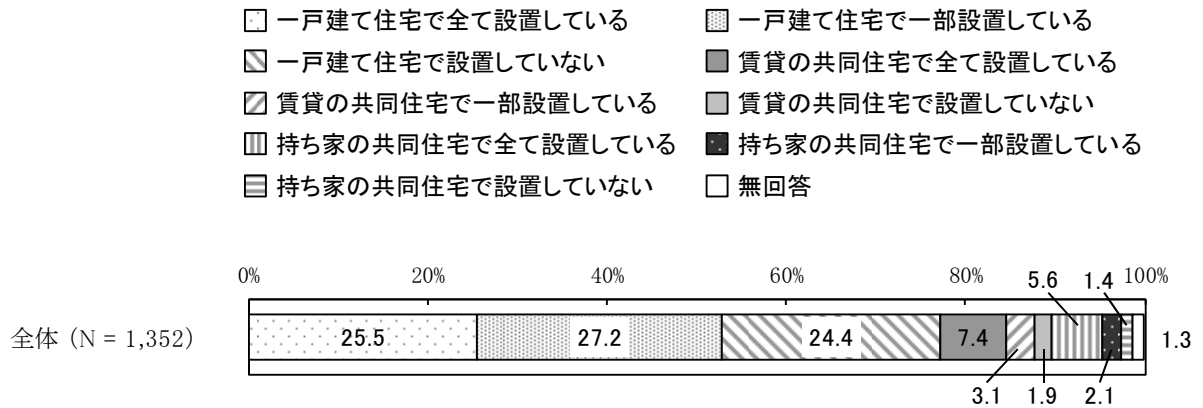
| 区分        | 有効回答数<br>(件) | 緊急性を感じて<br>ない | 保管場所がない | 備蓄する目安を知<br>らなかった | 費用がかかる | その他 | 無回答  |
|-----------|--------------|---------------|---------|-------------------|--------|-----|------|
| 18・19 歳   | 20           | 30.0          | 30.0    | 25.0              | 15.0   | —   | 25.0 |
| 20 歳～29 歳 | 106          | 18.9          | 40.6    | 31.1              | 14.2   | 6.6 | 14.2 |
| 30 歳～39 歳 | 133          | 19.5          | 42.1    | 31.6              | 15.0   | 6.8 | 12.8 |
| 40 歳～49 歳 | 236          | 16.9          | 49.2    | 24.2              | 13.1   | 6.8 | 16.5 |
| 50 歳～59 歳 | 212          | 21.7          | 34.4    | 25.9              | 15.6   | 5.2 | 19.3 |
| 60 歳～64 歳 | 134          | 31.3          | 26.1    | 15.7              | 5.2    | 9.0 | 24.6 |
| 65 歳以上    | 445          | 30.3          | 23.4    | 23.6              | 7.6    | 3.8 | 23.4 |

#### ●「保管場所がない」が高い割合

「保管場所がない」の割合が33.8%と最も高く、次いで「備蓄する目安を知らなかった」の割合が24.7%、「緊急性を感じていない」の割合が24.5%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で「保管場所がない」の割合が高くなっています。

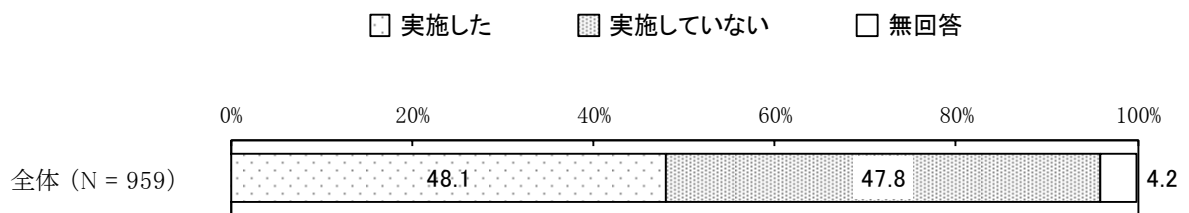
問 8 稲沢市では、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。お住まいの住宅の義務となる場所（寝室・子ども部屋・階段上部）に住宅用火災警報器は設置されていますか。（○は1つだけ）



### ●「全て設置している」が約4割

「一戸建て住宅」「賃貸の共同住宅」「持ち家の共同住宅」で、全て設置しているの合計割合が38.5%となっています。

問 8 で、「全て設置している」「一部設置している」と答えたかたにお聞きます。  
問 8－1 住宅用火災警報器の作動確認を実施しましたか。（どちらかに○）

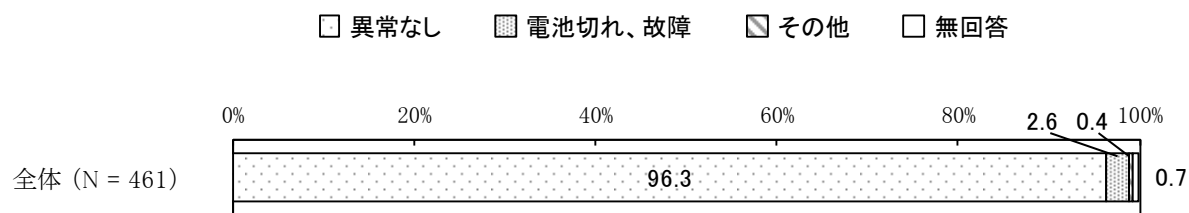


### ●作動確認を「実施した」と「実施していない」では差異なし

「実施した」の割合が48.1%、「実施していない」の割合が47.8%となっています。

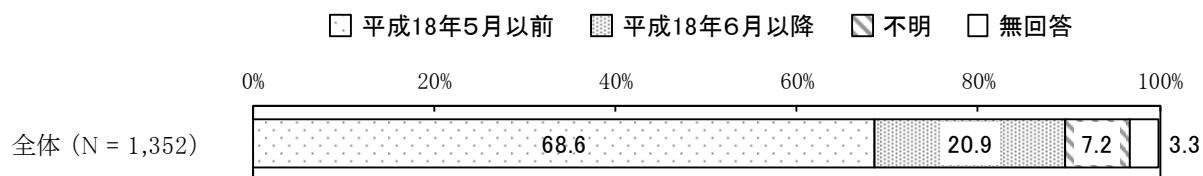
問 8－1 で、「1. 実施した」と答えたかたにお聞きします。

問 8－2 作動確認を実施した結果について選んでください。(○は1つだけ)



「異常なし」の割合が 96.3%、「電池切れ、故障」の割合が 2.6%となっています。

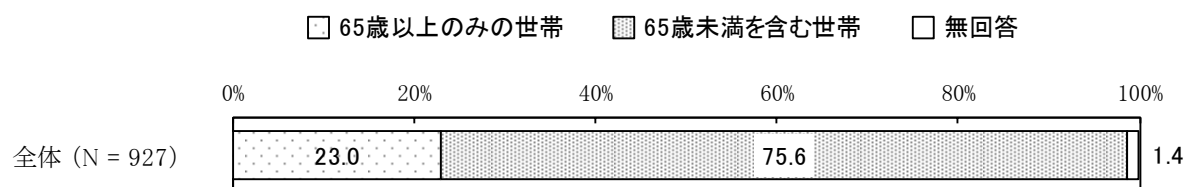
問 9 お住まいの住宅はいつ建てられましたか。(○は1つだけ)



「平成 18 年 5 月以前」の割合が 68.6%、「平成 18 年 6 月以降」の割合が 20.9%となっています。

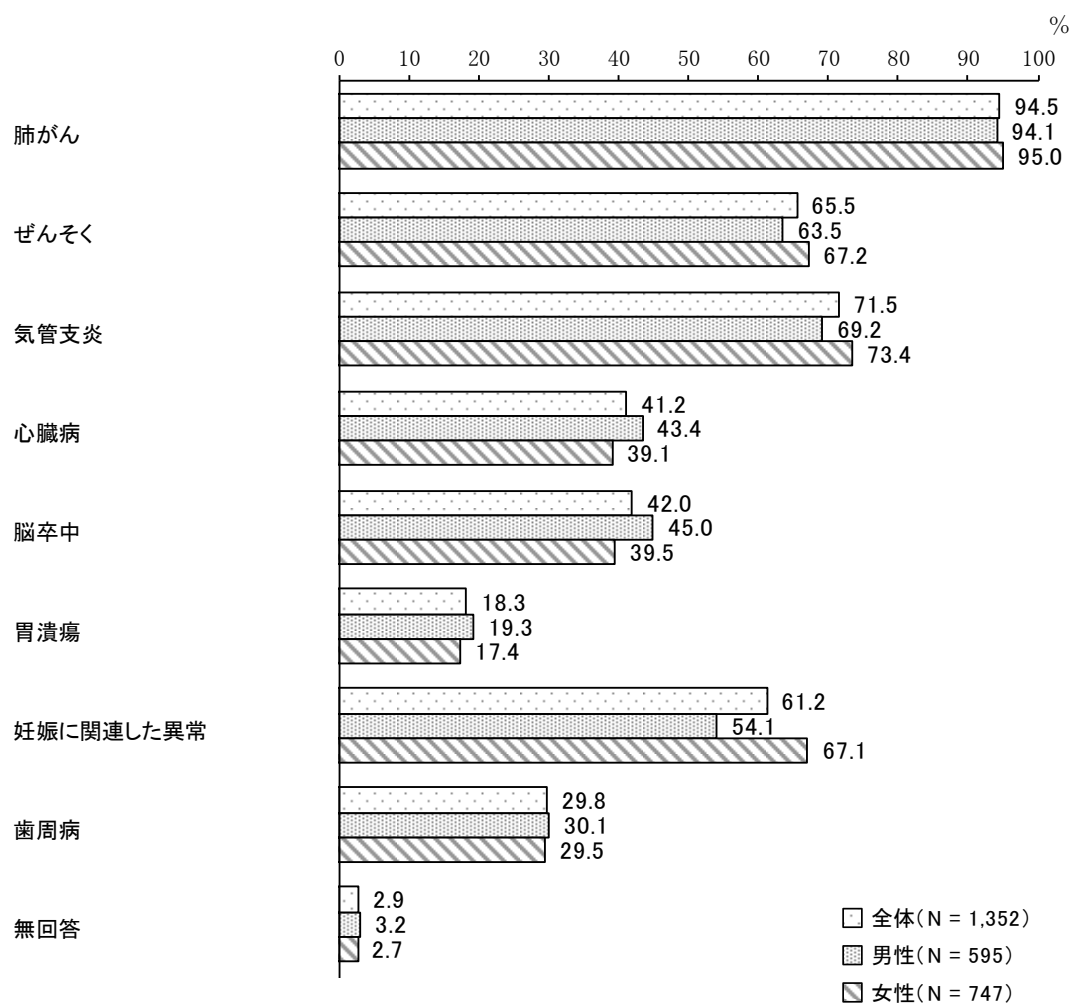
問 9 で、「1. 平成 18 年 5 月以前」と答えたかたにお聞きします。

問 9－1 家族構成について選んでください。(どちらかに○)



「65 歳以上のみの世帯」の割合が 23.0%、「65 歳未満を含む世帯」の割合が 75.6%となっています。

問 10 次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものはありますか。  
(あてはまるもの全てに○)





## 【年齢別】

単位：％

| 区分        | 有効回答数<br>(件) | 肺がん  | ぜんそく | 気管支炎 | 心臓病  | 脳卒中  | 胃潰瘍  | 妊娠に関連した異常 | 歯周病  | 無回答 |
|-----------|--------------|------|------|------|------|------|------|-----------|------|-----|
| 18・19 歳   | 21           | 95.2 | 47.6 | 66.7 | 19.0 | 28.6 | 19.0 | 81.0      | 61.9 | —   |
| 20 歳～29 歳 | 115          | 94.8 | 67.8 | 74.8 | 36.5 | 41.7 | 22.6 | 75.7      | 55.7 | 3.5 |
| 30 歳～39 歳 | 139          | 96.4 | 63.3 | 69.8 | 36.7 | 46.0 | 19.4 | 75.5      | 38.8 | 2.2 |
| 40 歳～49 歳 | 241          | 96.3 | 61.4 | 70.5 | 39.4 | 50.6 | 19.1 | 67.2      | 32.4 | 2.1 |
| 50 歳～59 歳 | 219          | 95.4 | 68.0 | 70.3 | 50.2 | 54.3 | 23.7 | 68.9      | 36.1 | 1.8 |
| 60 歳～64 歳 | 139          | 95.7 | 64.7 | 71.2 | 39.6 | 36.0 | 15.1 | 57.6      | 24.5 | 2.9 |
| 65 歳以上    | 475          | 92.4 | 68.0 | 72.6 | 41.9 | 33.5 | 15.2 | 47.6      | 16.8 | 4.0 |

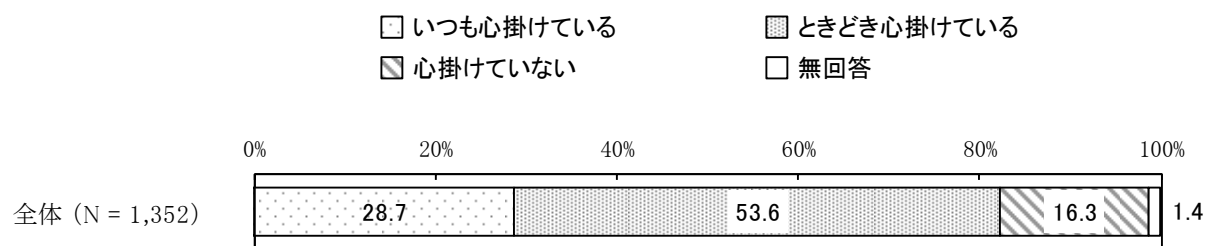
### ●たばこが影響する病気は「肺がん」と各年代が認識

「肺がん」の割合が 94.5％と最も高く、次いで「気管支炎」の割合が 71.5％、「ぜんそく」の割合が 65.5％となっています。

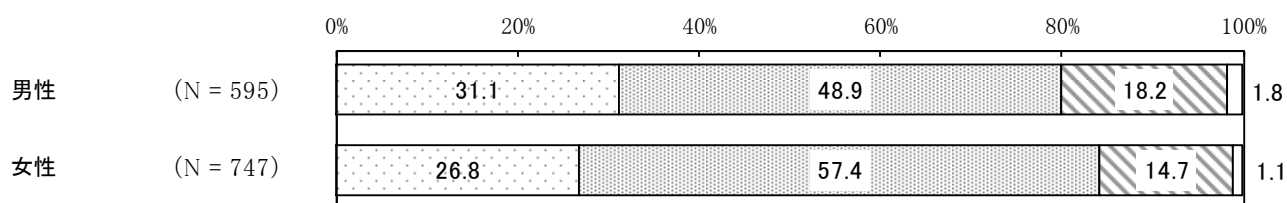
性別でみると、男性で「脳卒中」の割合が高くなっています。一方、女性で「妊娠に関連した異常」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19 歳で「妊娠に関連した異常」の割合が高くなっています。

問 11 日頃から健康維持・増進のために早歩きや階段を使ったりするなど、意識的に体を動かすように心掛けていますか。(○は1つだけ)



### 【性別】



### 【年齢別】

単位：％

| 区分        | 有効回答数<br>(件) | いつも心掛けている | ときどき心掛けている | 心掛けていない | 無回答 |
|-----------|--------------|-----------|------------|---------|-----|
| 18・19 歳   | 21           | 38.1      | 42.9       | 19.0    | —   |
| 20 歳～29 歳 | 115          | 27.0      | 57.4       | 14.8    | 0.9 |
| 30 歳～39 歳 | 139          | 18.0      | 57.6       | 23.7    | 0.7 |
| 40 歳～49 歳 | 241          | 27.4      | 56.4       | 14.9    | 1.2 |
| 50 歳～59 歳 | 219          | 20.1      | 58.0       | 21.5    | 0.5 |
| 60 歳～64 歳 | 139          | 23.7      | 60.4       | 15.8    | —   |
| 65 歳以上    | 475          | 38.1      | 46.3       | 12.8    | 2.7 |

## 【職業別】

単位：％

| 区分               | 有効回答数<br>(件) | いつも心掛けている | ときどき心掛けている | 心掛けていない | 無回答 |
|------------------|--------------|-----------|------------|---------|-----|
| 会社員              | 410          | 24.6      | 54.9       | 19.8    | 0.7 |
| 公務員              | 47           | 31.9      | 53.2       | 12.8    | 2.1 |
| 自営業者             | 79           | 30.4      | 41.8       | 26.6    | 1.3 |
| 農業従事者            | 29           | 17.2      | 62.1       | 20.7    | —   |
| 主婦・主夫(家事のみ)      | 181          | 29.3      | 50.8       | 17.7    | 2.2 |
| 主婦・主夫(内職・パート従事者) | 246          | 25.2      | 61.4       | 13.4    | —   |
| 学生               | 41           | 29.3      | 58.5       | 12.2    | —   |
| 無職               | 262          | 38.9      | 45.8       | 11.8    | 3.4 |
| その他              | 40           | 20.0      | 70.0       | 10.0    | —   |

### ● 8割以上のかたが健康に「いつも・ときどき心掛けている」

「ときどき心掛けている」の割合が 53.6％と最も高く、次いで「いつも心掛けている」の割合が 28.7％、「心掛けていない」の割合が 16.3％となっています。

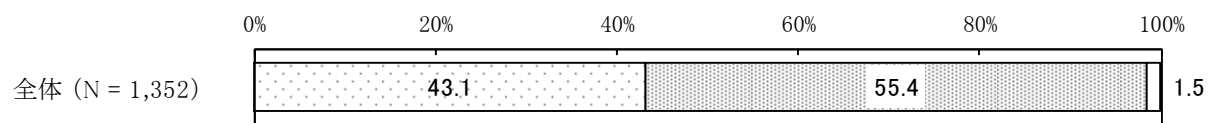
性別でみると、女性で「ときどき心掛けている」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19 歳、65 歳以上で「いつも心掛けている」の割合が高くなっています。

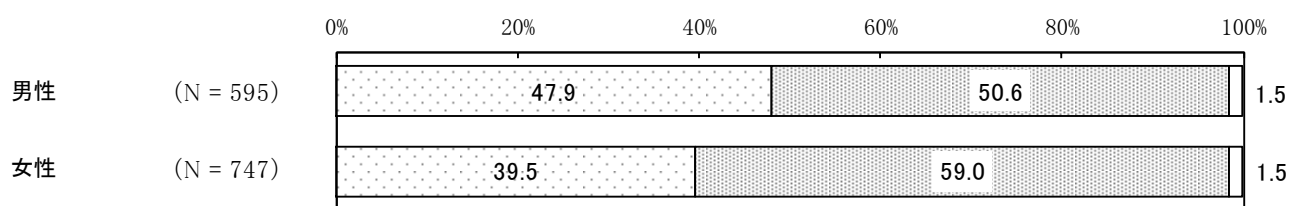
職業別でみると、他に比べ、無職で「いつも心掛けている」の割合が高くなっています。また、自営業者で「心掛けていない」の割合が高くなっています。

問 12 1日に30分以上歩いていますか。(どちらかに○)

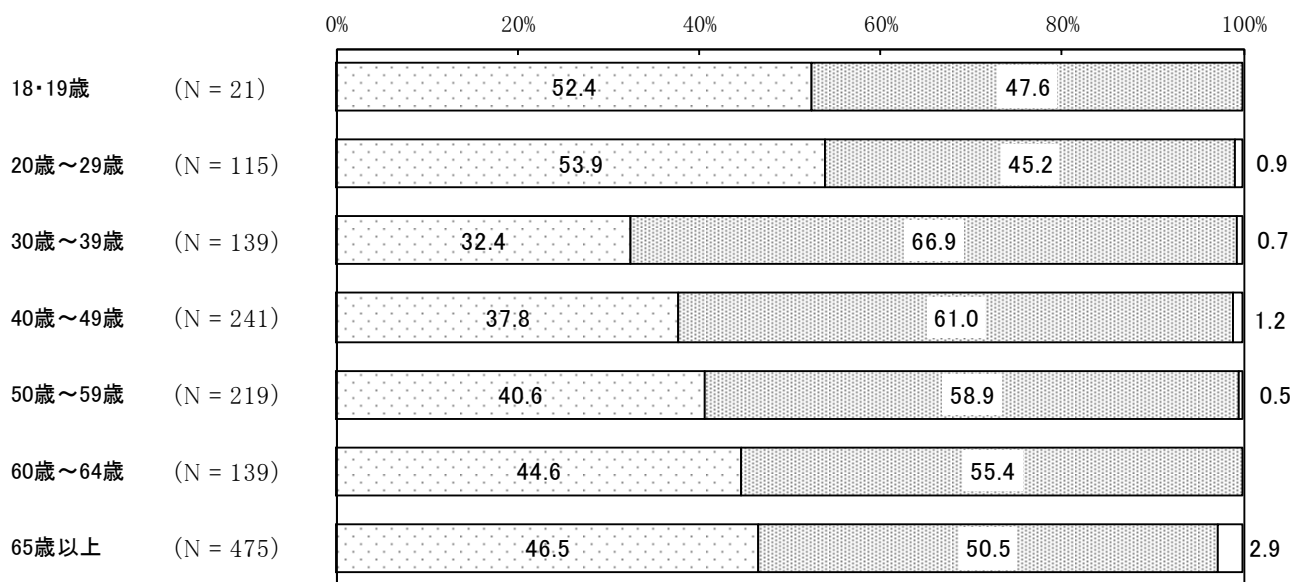
☐ 歩いている ☐ 歩いていない ☐ 無回答



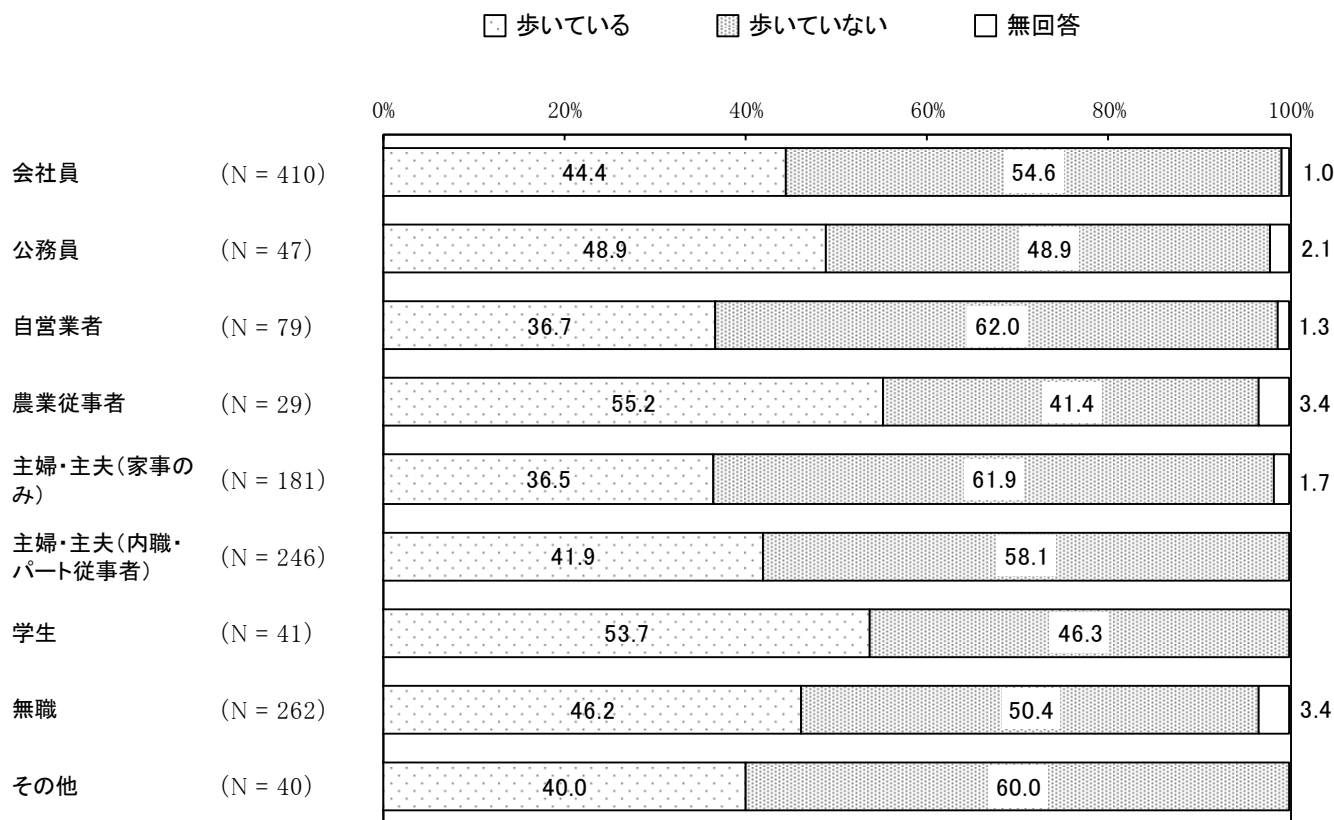
【性別】



【年齢別】



## 【職業別】



### ● 5割半ばのかたが「歩いていない」

「歩いている」の割合が 43.1%、「歩いていない」の割合が 55.4%となっています。

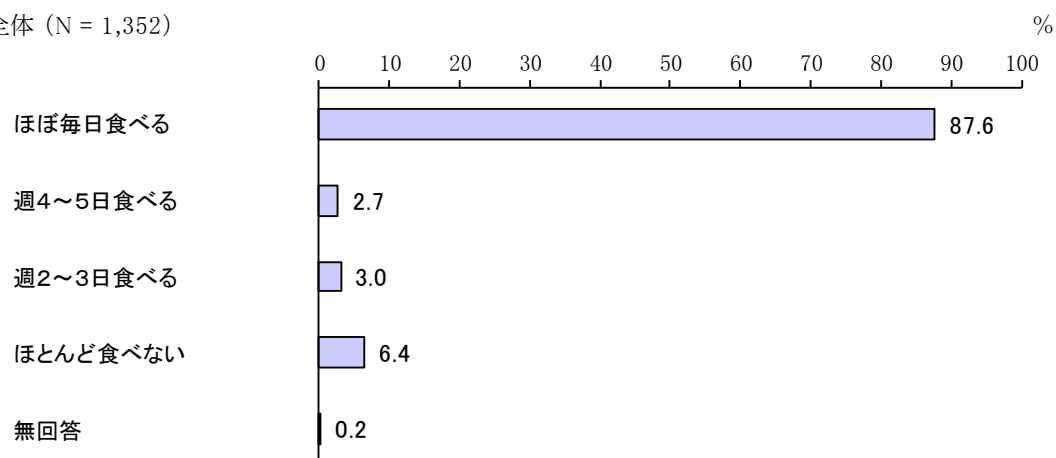
性別でみると、男性で「歩いている」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19歳、20歳～29歳で「歩いている」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「歩いていない」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、農業従事者、学生で「歩いている」の割合が高くなっています。また、自営業者、主婦・主夫(家事のみ)で「歩いていない」の割合が高くなっています。

問 13 朝食を毎日食べていますか。(○は1つだけ)

全体 (N = 1,352)



【年齢別】

単位：%

| 区分        | 有効回答数<br>(件) | ほぼ毎日<br>食べる | 週4～5日<br>食べる | 週2～3日<br>食べる | ほとんど<br>食べない | 無回答 |
|-----------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| 18・19 歳   | 21           | 76.2        | 4.8          | 14.3         | 4.8          | —   |
| 20 歳～29 歳 | 115          | 73.9        | 8.7          | 2.6          | 14.8         | —   |
| 30 歳～39 歳 | 139          | 78.4        | 5.8          | 5.8          | 9.4          | 0.7 |
| 40 歳～49 歳 | 241          | 84.6        | 3.3          | 4.1          | 7.9          | —   |
| 50 歳～59 歳 | 219          | 88.1        | 2.3          | 1.4          | 8.2          | —   |
| 60 歳～64 歳 | 139          | 91.4        | —            | 6.5          | 2.2          | —   |
| 65 歳以上    | 475          | 94.7        | 0.6          | 1.1          | 3.2          | 0.4 |

## 【職業別】

単位：％

| 区分               | 有効回答数<br>(件) | ほぼ毎日食べる | 週4～5日食べる | 週2～3日食べる | ほとんど食べない | 無回答 |
|------------------|--------------|---------|----------|----------|----------|-----|
| 会社員              | 410          | 80.0    | 4.1      | 4.9      | 10.7     | 0.2 |
| 公務員              | 47           | 85.1    | 6.4      | 2.1      | 6.4      | —   |
| 自営業者             | 79           | 78.5    | 3.8      | 5.1      | 12.7     | —   |
| 農業従事者            | 29           | 96.6    | —        | —        | 3.4      | —   |
| 主婦・主夫(家事のみ)      | 181          | 95.0    | —        | 1.1      | 3.3      | 0.6 |
| 主婦・主夫(内職・パート従事者) | 246          | 93.9    | 1.6      | 2.4      | 2.0      | —   |
| 学生               | 41           | 75.6    | 7.3      | 7.3      | 9.8      | —   |
| 無職               | 262          | 94.3    | 1.5      | 0.8      | 3.1      | 0.4 |
| その他              | 40           | 85.0    | 5.0      | 5.0      | 5.0      | —   |

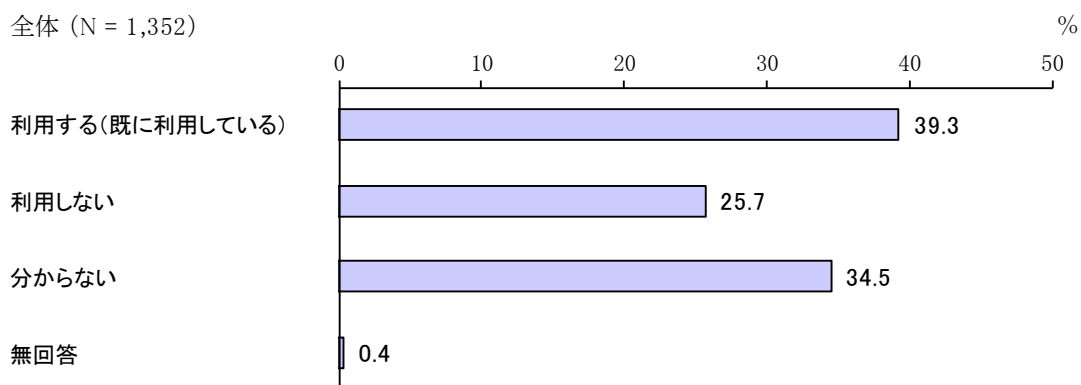
### ●「ほぼ毎日食べる」が各年代でトップ

「ほぼ毎日食べる」の割合が87.6%と最も高くなっています。

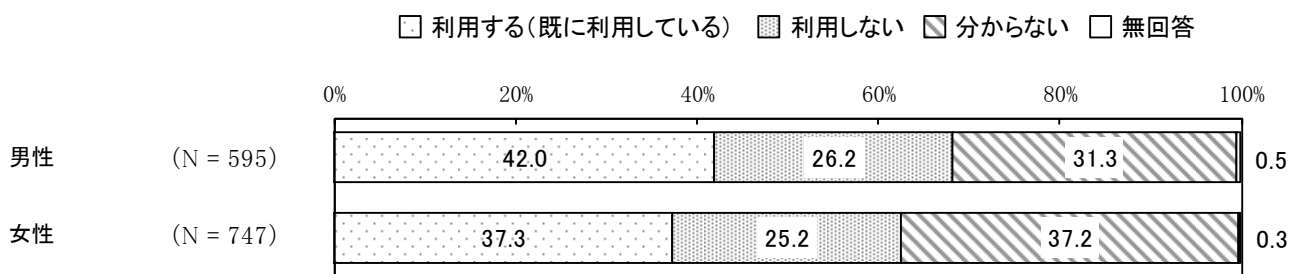
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「ほぼ毎日食べる」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、会社員、自営業者で「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。

**問 14 あなたや家族のかたが病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。  
(○は1つだけ)**



**【性別】**



**【年齢別】**

単位：%

| 区分        | 有効回答数<br>(件) | 利用する<br>(既に利用<br>している) | 利用しない | 分からない | 無回答 |
|-----------|--------------|------------------------|-------|-------|-----|
| 18・19 歳   | 21           | 28.6                   | 33.3  | 38.1  | —   |
| 20 歳～29 歳 | 115          | 34.8                   | 33.0  | 32.2  | —   |
| 30 歳～39 歳 | 139          | 29.5                   | 32.4  | 38.1  | —   |
| 40 歳～49 歳 | 241          | 32.0                   | 31.1  | 36.5  | 0.4 |
| 50 歳～59 歳 | 219          | 42.0                   | 25.1  | 32.9  | —   |
| 60 歳～64 歳 | 139          | 38.8                   | 27.3  | 33.1  | 0.7 |
| 65 歳以上    | 475          | 46.3                   | 18.9  | 34.1  | 0.6 |



## 【居住地区別】

単位：％

| 区分    | 有効回答数<br>(件) | 利用する<br>(既に利用<br>している) | 利用しない | 分からない | 無回答 |
|-------|--------------|------------------------|-------|-------|-----|
| 稲沢    | 298          | 50.0                   | 17.1  | 32.2  | 0.7 |
| 小正    | 131          | 55.7                   | 20.6  | 23.7  | —   |
| 下津    | 99           | 36.4                   | 28.3  | 35.4  | —   |
| 明治    | 110          | 38.2                   | 27.3  | 34.5  | —   |
| 千代田   | 75           | 37.3                   | 25.3  | 37.3  | —   |
| 大里西   | 112          | 58.9                   | 12.5  | 26.8  | 1.8 |
| 大里東   | 94           | 55.3                   | 14.9  | 29.8  | —   |
| 祖父江   | 203          | 16.7                   | 44.8  | 38.4  | —   |
| 平和    | 126          | 10.3                   | 39.7  | 49.2  | 0.8 |
| 分からない | 57           | 35.1                   | 28.1  | 36.8  | —   |

### ●65 歳以上で「利用する」が 4 割半ば

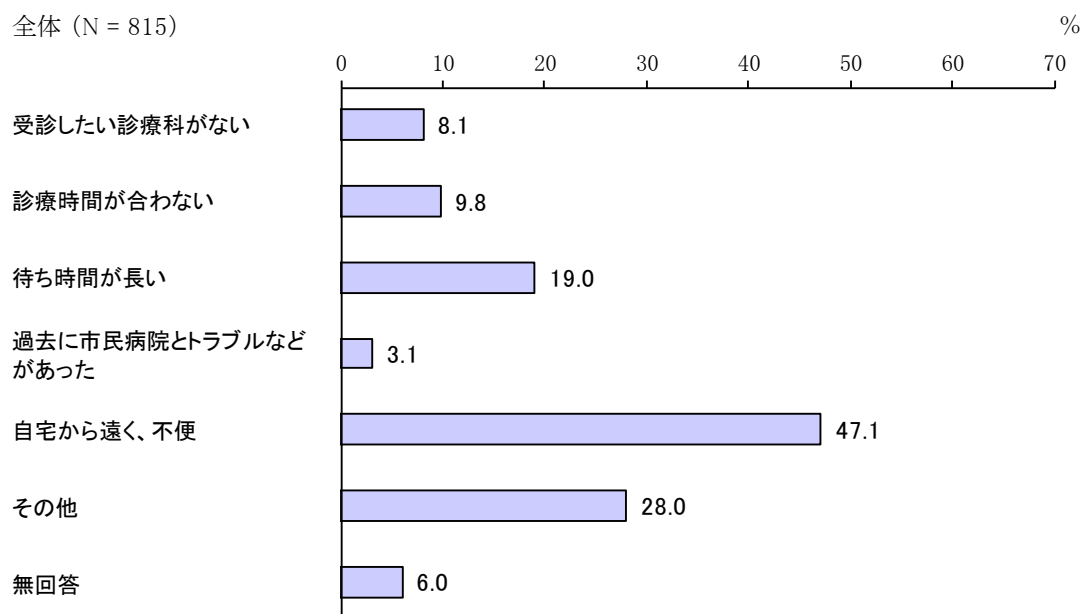
「利用する（既に利用している）」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「分からない」の割合が 34.5%、「利用しない」の割合が 25.7%となっています。

性別でみると、男性で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65 歳以上で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、小正、大里西、大里東地区で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。また、祖父江地区で「利用しない」の割合が高くなっています。

問 14 で、「2. 利用しない」「3. 分からない」と答えたかたにお聞きします。  
問 14－1 その理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）



### 【年齢別】

単位：％

| 区分        | 有効回答数<br>(件) | 受診したい診療科がない | 診療時間が合わない | 待ち時間が長い | 過去に市民病院とトラブルなどがあった | 自宅から遠く、不便 | その他  | 無回答  |
|-----------|--------------|-------------|-----------|---------|--------------------|-----------|------|------|
| 18・19 歳   | 15           | —           | —         | 6.7     | 6.7                | 40.0      | 33.3 | 13.3 |
| 20 歳～29 歳 | 75           | 1.3         | 9.3       | 26.7    | 4.0                | 41.3      | 29.3 | 8.0  |
| 30 歳～39 歳 | 98           | 10.2        | 15.3      | 28.6    | 2.0                | 34.7      | 39.8 | —    |
| 40 歳～49 歳 | 163          | 8.6         | 14.1      | 25.2    | 3.7                | 42.3      | 29.4 | 4.9  |
| 50 歳～59 歳 | 127          | 11.0        | 15.7      | 18.9    | 3.9                | 39.4      | 33.1 | 5.5  |
| 60 歳～64 歳 | 84           | 10.7        | 7.1       | 15.5    | 3.6                | 46.4      | 22.6 | 9.5  |
| 65 歳以上    | 252          | 7.1         | 3.6       | 11.1    | 2.0                | 61.5      | 21.0 | 6.7  |

## 【居住地区別】

単位：％

| 区分    | 有効回答数<br>(件) | 受診したい診療科がない | 診療時間が合わない | 待ち時間が長い | 過去に市民病院とト<br>ラブルなどがあつた | 自宅から遠く、不便 | その他  | 無回答  |
|-------|--------------|-------------|-----------|---------|------------------------|-----------|------|------|
| 稲沢    | 147          | 14.3        | 12.9      | 24.5    | 4.8                    | 16.3      | 38.8 | 9.5  |
| 小正    | 58           | 13.8        | 17.2      | 39.7    | 3.4                    | 10.3      | 44.8 | 3.4  |
| 下津    | 63           | 6.3         | 14.3      | 23.8    | 1.6                    | 23.8      | 42.9 | 3.2  |
| 明治    | 68           | 10.3        | 5.9       | 13.2    | 1.5                    | 54.4      | 32.4 | 5.9  |
| 千代田   | 47           | 6.4         | 6.4       | 12.8    | —                      | 53.2      | 38.3 | 4.3  |
| 大里西   | 44           | 22.7        | 22.7      | 34.1    | 2.3                    | 9.1       | 34.1 | 9.1  |
| 大里東   | 42           | 7.1         | 19.0      | 23.8    | 2.4                    | 28.6      | 26.2 | 14.3 |
| 祖父江   | 169          | 3.0         | 4.1       | 10.1    | 3.6                    | 88.8      | 8.3  | 1.2  |
| 平和    | 112          | 0.9         | 2.7       | 8.9     | 2.7                    | 82.1      | 14.3 | 4.5  |
| 分からない | 37           | 5.4         | 16.2      | 24.3    | 5.4                    | 24.3      | 35.1 | 8.1  |

### ●利用しない理由は「自宅から遠く、不便」が4割半ば

「自宅から遠く、不便」の割合が47.1%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」の割合が19.0%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳以上で「自宅から遠く、不便」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、祖父江、平和地区で「自宅から遠く、不便」の割合が高くなっています。

## Ⅲ 前回の調査結果により事業に活用した事例の進捗状況

### ●稲沢市職員人材育成基本方針の策定に向けて【人事課】

|             |                                                                                                                                                                                                     |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | <p>1. あなたが求める稲沢市職員の最も重要な姿を次の項目から選んでください。</p> <p>2. あなたが現在の稲沢市職員に備わっていないと思うものを選んでください。</p>                                                                                                           |
| 調査結果        | <p>1. 「意欲的に職務を遂行し、市民の立場に立って行動する職員」が 33.0%と最も高く、次いで「笑顔を絶やさず親切・ていねいな対応ができる職員」が 30.4%、「全体の奉仕者として自覚と責任を持ち、市民に信頼される職員」が 17.6%となりました。</p> <p>2. 「市民目線」が 31.5%で最も高く、次いで「創造性」「親しみやすさ」がそれぞれ 17.1%となりました。</p> |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>この結果を基に「稲沢市職員人材育成基本方針」を平成 30 年 3 月に策定し、この方針に基づき職員の能力開発や資質向上に向けた職員研修の充実と職員の意識改革を図り、稲沢市行政を担う人材を育成しています。</p>                                                                                        |

### ●市制 60 周年記念事業実施についての意識調べ【企画政策課】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | <p>稲沢市は平成 30 年に市制 60 周年を迎えます。これを記念して市の魅力を広く発信する記念事業を実施するべきだと思いますか。また、どのように実施していくべきだと思いますか。</p>                                                                                                                                                             |
| 調査結果        | <p>実施の是非については、「どちらかというを実施したほうがよい」が 34.5%と最も高く、次いで「分からない」が 23.7%、「実施するべきだ」が 20.6%となり、「実施するべき」と「実施したほうがよい」で半数以上を占めました。</p> <p>また、実施の方法については、「市民と行政が協働で企画し、実施するべきである」が 73.0%と最も高く、次いで「専門の業者に企画してもらい、実施するべきである」が 14.0%となり、「市民と行政が協働で企画し、実施するべき」が大多数を占めました。</p> |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>この結果に基づき、CM 制作メンバーの市民公募、ロゴマーク最終選考での一般投票、市民提案事業の実施に対する補助、フォトモザイクアートに使用する写真の募集、市民参加型公開番組の招へいなど、市民参加を基調とした市制 60 周年記念事業を実施しました。</p>                                                                                                                         |

## ●議会広報の強化に向けて【議事課】

|             |                                                                                                                                              |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | 議会の情報を発信する「市議会だより」を読んだことはありますか。また、「ほとんど読まない」「知らない、見たことがない」理由は何ですか。                                                                           |
| 調査結果        | 「ときどき読む」が46.6%と最も高く、次いで「ほとんど読まない」が22.9%、「いつも読む」が21.6%となりました。また、「ほとんど読まない」「知らない、見たことがない」理由としては、「興味がない」が65.3%と最も高く、次いで「内容が分かりにくい」が22.0%となりました。 |
| 活用した事例の進捗状況 | 議会広報の強化のため、この結果を広報広聴委員会委員へ周知しました。<br>専門的な用語を避け、分かりやすい文章にし、写真やイラストを増やすなど、議会を知ってもらうため紙面を工夫し、見やすい「市議会だより」の作成のために活用しています。                        |

## ●図書館の利用状況調べ【図書館】

|             |                                                                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | あなたは、今までに稲沢市図書館を利用したことがありますか。また、利用したことがない理由は何ですか。                                                                                    |
| 調査結果        | 利用の有無は、「ある」が62.7%、「ない」が35.8%となりました。<br>利用したことがない理由は、「本をあまり読まないから」が33.3%で最も高く、次いで「稲沢市図書館までの交通が不便だから」が24.5%、「利用する時間がないから」が23.7%となりました。 |
| 活用した事例の進捗状況 | この結果に基づき、図書館への興味・関心を高めるよう講座・イベントなどを開催するとともに、これら事業を通して、読書につながる関連資料の紹介などを行いました。                                                        |

## ●リサイクル資源排出方法の状況調べ【資源対策課】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | 古紙などの資源の排出は、どの方法を最も利用していますか。                                                                                                                                                                                                                              |
| 調査結果        | 「分別収集(行政区で月 1 回行われている資源回収)」が 54.7%と最も高く、次いで「集団回収(子ども会・学校などが行っている資源回収)」が 19.0%となりました。                                                                                                                                                                      |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>第 23 回調査時(平成 28 年)以降も、資源の回収量が年々減少しています。約 4 人に 1 人が市以外の回収場所(民間資源回収場所など)を利用していることから、民間資源回収場所の動向(箇所数および取扱品目などの増減)を注視するとともに、分別収集や集団回収といった、市が設けている排出機会の利用を呼び掛けています。</p> <p>また、この調査結果を受けて、市の資源回収量の捕捉率が低下していることが予測されたため、民間資源回収場所を設けている事業者に対し、回収量調査を行いました。</p> |

## ●水道水の安全についての意識調べ

### 飲料水を備蓄することについての意識調べ【水道業務課】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | <p>1. 飲料水として、もっとも利用する水は何ですか。また、水道水を利用していない理由は何ですか。</p> <p>2. 地震など災害時における飲料水対策をどのようにされていますか。</p>                                                                                                                                                                                         |
| 調査結果        | <p>1. 「水道水」が 42.2%と最も高く、次いで「浄水器で浄水した水道水」が 17.8%、「市販のペットボトル入りの水」が 17.3%となりました。また、水道水を飲料水として利用していない理由は、水道水は「安全性(水質)に不安を感じるから」が 26.0%と最も高く、次いで「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が 25.6%、「水道水は塩素(カルキ)臭がするから」が 18.3%となりました。</p> <p>2. 「市販のペットボトル入りの水などを備蓄」が 56.3%と最も高く、次いで「何もしていない」が 37.4%となりました。</p> |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>1. 第 5 次稲沢市総合計画などで示されている目標値に対する達成度の検証に利用しました。</p> <p>2. 飲料水の備蓄について、今後の啓発活動の方針・方法を検討する根拠として活用しています。</p>                                                                                                                                                                               |

## ●住宅用火災警報器などの設置状況調べ【消防本部予防課】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | <p>1. お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。また、住宅用火災警報器の作動確認を実施しましたか。作動確認の実施結果はどうでしたか。</p> <p>2. お住まいの住宅はいつ建てられましたか。また、「平成 18 年 5 月以前」と答えたかたは、どのような家族構成ですか。</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| 調査結果        | <p>1. 住宅用火災警報器の設置状況は、「全て設置している」はそれぞれ、「一戸建て住宅」で 24.2%、「賃貸の共同住宅」で 7.7%、「持ち家の共同住宅」で 5.7%であり、合計が 37.6%となりました。「一部設置している」では、「一戸建て住宅」が 26.5%、「賃貸の共同住宅」が 3.4%、「持ち家の共同住宅」が 2.9%であり、合計が 32.8%となりました。また、住宅用火災警報器の作動確認をしているのは 49.9%で、このうち 96.1%が「異常なし」、「電池切れ、故障」が 2.0%となりました。</p> <p>2. 住宅用火災警報器の設置が義務付けられた、平成 18 年 5 月以前に建てられた住宅は 68.6%で、この家族構成は、「65 歳以上のみの世帯」が 24.8%、「65 歳以上を含む世帯」が 73.8%でした。</p> |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>住宅用火災警報器の設置義務以前に建てられた住宅において、約 25%が 65 歳以上のみの世帯であることから、住宅火災による死者を低減するため、行政区や事業所の消防訓練などでの啓発のほか、80 歳以上のかたを対象に戸別訪問する住宅防火査察に併せ、設置や交換を呼び掛けています。</p>                                                                                                                                                                                                                                        |

## ●いきいきいなざわ健康 2 1（第 2 次）計画推進に向けて【健康推進課】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | <p>1. たばこが影響する病気について知っていますか。</p> <p>2. 日頃から体を動かすよう心掛けていますか。</p> <p>3. 1 日に 30 分以上歩いていますか。</p> <p>4. 朝食を毎日食べていますか。</p>                                                                                                                                       |
| 調査結果        | <p>1. たばこが影響する病気の認識について、「肺がん」が 95.7%と最も高く、次いで「気管支炎」が 68.8%、「ぜんそく」が 63.8%となりました。</p> <p>2. 「ときどき心掛けている」が 47.2%と最も高く、次いで「いつも心掛けている」が 30.9%、「心掛けていない」が 20.9%となりました。</p> <p>3. 「歩いている」が 46.9%、「歩いていない」が 51.7%となりました。</p> <p>4. 「ほぼ毎日食べる」が 86.7%と最も高くなっています。</p> |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>いきいきいなざわ健康 2 1（第 2 次）計画中の評価指標として活用し、達成状況を確認しました。2023 年度の最終評価までに、事業の推進をしながら目標に近づけていきます。</p>                                                                                                                                                               |

●市民に利用される市民病院に向けて【市民病院管理課】

|             |                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問          | <p>あなたや家族のかたが病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。また、利用しない理由は何ですか。</p>                                                                                                                                                                   |
| 調査結果        | <p>「利用する（利用している）」が 42.7%で最も高く、次いで「利用しない」 28.8%、「分からない」 27.9%となりました。年齢別では、65 歳以上の「利用する（利用している）」の割合が 52.2%と、他の年齢に比べて高くなっています。</p> <p>利用しない理由としては、「自宅から遠く、不便」が 49.7%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」 17.6%、「診療時間が合わない」 10.4%が主な理由になっています。</p> |
| 活用した事例の進捗状況 | <p>65 歳以上の利用率が高いことから、当院が開催する公開講座では腰痛や健康寿命など、高齢のかたがより興味を持っていただけるテーマを取り上げました。</p> <p>「待ち時間が長い」という回答は、第 22 回調査時（平成 26 年）より低くなりましたが、混雑状況に応じて丁寧に説明することで、より利用しやすい病院となるよう努めています。</p>                                                |



第 24 回市政世論調査  
市民のこえ  
調査結果のまとめ

発行年月 平成 30 年 11 月

発行 稲沢市  
編集 稲沢市市長公室秘書広報課  
稲沢市稲府町 1 (〒492-8269)  
T E L 0587 (32) 1126 (ダイヤルイン)  
F A X 0587 (23) 1489